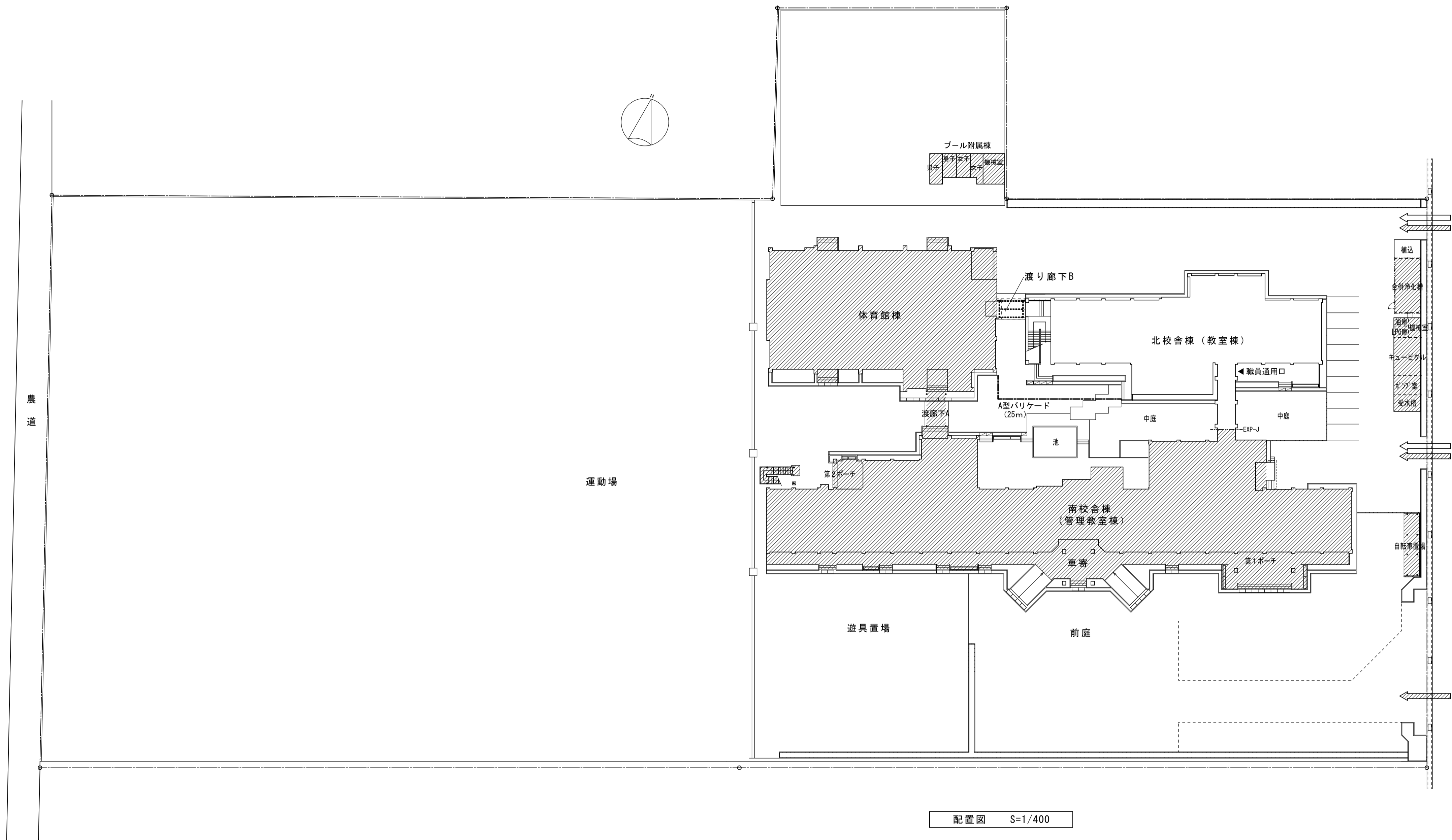


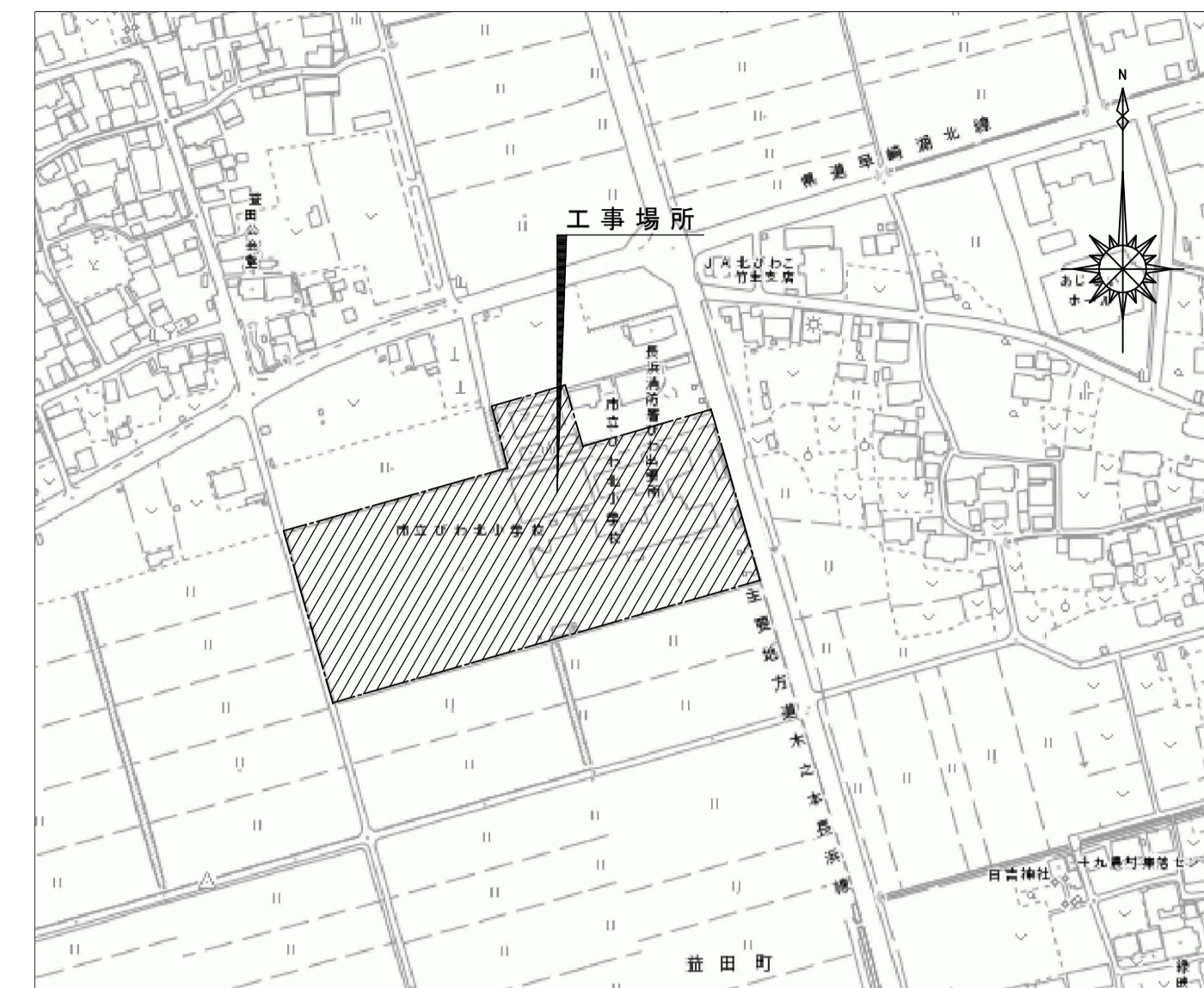
びわ北小学校北校舎外壁等改修工事

図 面 目 録		
NO	図 面 名 称	縮 尺
A-1	建築工事特記仕様書(1)	
A-2	建築工事特記仕様書(2)	
A-3	建築工事特記仕様書(3)	
A-4	付近見取図・配置図・仮設計画図	1:400
A-5	現況 1階平面図	1:200
A-6	現況 2階平面図	1:200
A-7	改修 2階平面図	1:200
A-8	現況 屋上平面図	1:200
A-9	改修 屋上平面図	1:200
A-10	立面図(1)	1:100
A-11	立面図(2)	1:100
A-12	立面図(1) 破損等位置図	1:100
A-13	立面図(2) 破損等位置図	1:100
A-14	現況 断面詳細図(1)	1:30
A-15	改修 断面詳細図(1)	1:30
A-16	現況 断面詳細図(2)	1:50
A-17	改修 断面詳細図(2)	1:50
A-18	現況 断面詳細図(3)	1:30
A-19	改修 断面詳細図(3)	1:30
A-20	現況・改修 1階軒天井伏図	1:200
A-21	現況・改修 2階軒天井伏図	1:200

<p>7 塗装改修工事</p> <p>① 材料</p> <p>② 下地調整</p> <p>③ 錆止め塗料塗り</p> <p>4 合成樹脂塗合</p> <p>ペイント塗り (SOP)</p> <p>5 9リツカ塗り (QL)</p> <p>6 7リツ樹脂系</p> <p>非水分散系塗料 (NAD)</p> <p>⑦ 耐熱性塗料塗り</p> <p>(DP)</p> <p>8 つや有合成樹脂</p> <p>7リツペイント塗り (EP-G)</p> <p>⑨ 合成樹脂</p> <p>7リツペイント塗り (EP)</p> <p>10 合成樹脂7リツペイント</p> <p>模様塗料塗り (EP-T)</p> <p>11 9リツ樹脂系</p> <p>2リツ塗り (UC)</p> <p>12 9リツ塗り (OS)</p> <p>13 木材保護塗料塗り (MP)</p>	<p>屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。 [7.1.3] [7.2.1~7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・RA種</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>※RB種</td> <td>※RA種、RC種以外全て(内部) ・図示による</td> </tr> <tr> <td>・RC種</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>既存既存下り面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4~表7.2.6] ※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による) ・行わない</p> <p>[7.3.2][7.3.3][表7.3.1]~[表7.3.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>錆止め塗料の種類</th> <th>塗替えの種類</th> <th>新規塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>見掛け部分 ※A種 ・B種 見隠れ部分 ・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>塗鉛めっき面</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> <td>新規鋼製建具等※A種 ・B種 その他 ・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>[7.4.3]~[7.4.5][表7.4.1]~[表7.4.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>塗替えの種類</th> <th>新規塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>※垂れめっき面</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>・鉄鋼面 ・鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※垂れめっき面 ※鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>下地調整は各表の注意書きによる</p> <p>塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.5.2][表7.5.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種</p> <p>[7.7.2][表7.7.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>工程等</th> <th>塗替えの種類</th> <th>新規塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル面等</td> <td>下地調整</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>「塗料その他の欄」による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗り種別</td> <td>・A種 ※B種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>[7.8.2]~[7.8.4][表7.8.1]~[表7.8.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>塗替えの種類</th> <th>新規塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・A種 ○B種 ・C種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>塗鉛めっき鋼面</td> <td>・A種 ○B種 ・C種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ○B-2種 ・C-1種 ・C-2種</td> <td>・A-1種 ○B-1種 ・C-1種</td> </tr> </table> <p>[7.9.2]~[7.9.5][表7.9.1]~[表7.9.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>塗替えの種類</th> <th>新規塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>コンクリート面、モルタル面等</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>塗鉛めっき面</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table> <p>塗替えの種類 ・A種 ※B種 ・C種 [7.10.2][表7.10.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種</p> <p>[7.11.2][表7.11.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>塗替えの場合</th> <th>新規塗りの種類</th> </tr> <tr> <td>下地調整</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>RB種の場合</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> </tr> </table> <p>下地調整は表の注意書きによる</p> <p>塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.12.2][表7.12.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種</p> <p>[7.13.2][表7.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>塗料</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・油性 ・水性</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・油性 ・水性</td> </tr> </table> <p>塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.14.2][表7.14.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種</p>	種別	施工箇所	・RA種	・図示による	※RB種	※RA種、RC種以外全て(内部) ・図示による	・RC種	・図示による	下地の種類	錆止め塗料の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類	鉄鋼面	※A種 ・B種	・A種 ・B種 ※C種	見掛け部分 ※A種 ・B種 見隠れ部分 ・A種 ※B種	塗鉛めっき面	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種 ※C種	新規鋼製建具等※A種 ・B種 その他 ・A種 ※B種	下地の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類	木部	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ・B種	※垂れめっき面	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ※B種	鋼製建具	・鉄鋼面 ・鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ・B種	その他	※垂れめっき面 ※鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種	下地の種類	工程等	塗替えの種類	新規塗りの種類	コンクリート、モルタル面等	下地調整	・RA種 ※RB種 ・RC種	「塗料その他の欄」による		塗り種別	・A種 ※B種	・A種 ※B種	下地の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類	鉄鋼面	・A種 ○B種 ・C種	※A種	塗鉛めっき鋼面	・A種 ○B種 ・C種	※A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ○B-2種 ・C-1種 ・C-2種	・A-1種 ○B-1種 ・C-1種	下地の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類	コンクリート面、モルタル面等	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種	木部	・A種 ※B種 ・C種	※A種 ・B種 ・C種	鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種	塗鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種	塗替えの場合	新規塗りの種類	下地調整	・A種 ※B種	RB種の場合	※A種 ・B種 ・C種	適用箇所	塗料	・	・油性 ・水性	・	・油性 ・水性	<p>7 コンクリートの種類及び強度</p> <p>レディーミクストコンクリートの種類 [8.1.3] [表8.1.1]</p> <p>※I類 ・II類</p> <p>普通コンクリート [6.1.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>強度割増ΔF</th> <th>温度補正値</th> <th>施工箇所</th> <th>スラップ</th> </tr> <tr> <td>・18 ※21 ・24</td> <td>3</td> <td>標仕による</td> <td>全体</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>※16</td> <td></td> <td>標仕による</td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>※18</td> <td></td> <td>標仕による</td> <td>土間、捨コンクリート</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>発注強度 = F_c + ΔF + T F_c 設計基準強度 (F_c) に対応した換算強度 (28日圧縮強度、N/mm²) ΔF 割増強度 T 温度補正値</p> <p>標仕による [表6.4.1]</p> <p>8 温度補正</p> <p>9 普通コンクリート</p> <p>セメントの種類 [8.2.5] [表8.2.3]</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種</p> <p>普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <tr> <th>水和熱</th> <th>7d</th> <th>352J/g以下</th> </tr> <tr> <td>28d</td> <td>402J/g以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>混和材料</p> <p>混和材料の種類 [8.2.5] [8.5.8]</p> <p>※混和剤</p> <p>・混和剤</p> <p>柱底等の均しモルタル [8.2.10] (7.10.3) (表7.10.2)</p> <p>※無収縮モルタル</p> <p>・標仕表7.10.2によるB種</p> <p>グラウト材 [8.2.10]</p> <p>※無収縮グラウト材</p> <p>無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による</p> <p>無収縮グラウト材 プレミックス及び現場調合形</p> <p>混和材</p> <p>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。</p> <p>JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通または単強ポルトランドセメントとする。</p> <p>砂</p> <p>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</p> <p>無収縮グラウトの品質及び試験方法 (現場調合形においては標準使用量・配合値)</p> <p>コンステンション</p> <p>Jロートによる落下時間</p> <p>練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒</p> <p>ブリージング</p> <p>練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</p> <p>凝結時間</p> <p>凝結開始時間 1時間以上</p> <p>終結時間 10時間以内</p> <p>無収縮性</p> <p>材齢7日 収縮しないこと</p> <p>圧縮強度</p> <p>材齢3日 20N/mm 以上²</p> <p>材齢28日 40.0N/mm 以上²</p> <p>付着強度</p> <p>材齢28日 2.5N/mm 以上²</p> <p>塩化物量</p> <p>0.30kg/m 以下²</p> <p>試験方法</p> <p>1) 日本道路公団規格 (JHS) の「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。</p> <p>2) 塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」の9.6塩化物量の試験方法による。</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>混和材</p> <p>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。</p> <p>セメント</p> <p>JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通または単強ポルトランドセメントとする。</p> <p>砂</p> <p>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。</p> <p>配合比 (各重量比)</p> <p>(セメント+混和材) : 砂 = 1 : 1</p> <p>無収縮モルタルの品質及び試験方法</p> <p>コンステンション</p> <p>Jロートによる落下時間</p> <p>練混ぜ完了から3分以内の値は 8±2秒</p> <p>ブリージング</p> <p>練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</p> <p>凝結時間</p> <p>凝結開始時間 1時間以上</p> <p>終結時間 10時間以内</p> <p>無収縮性</p> <p>材齢7日 収縮しないこと</p> <p>圧縮強度</p> <p>材齢3日 25.0N/mm 以上²</p> <p>材齢28日 45.0N/mm 以上²</p> <p>付着強度</p> <p>材齢28日 3.0N/mm 以上²</p> <p>塩化物量</p> <p>0.30kg/m 以下²</p> <p>試験方法</p> <p>1) 日本道路公団規格 (JHS) 「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。</p> <p>2) 塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」の9.6塩化物量の試験方法による。</p> <p>11 無筋コンクリート [6.14.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>スラップ (cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>※18</td> <td>※15又は18</td> <td>※25mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・20mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>設計基準強度F_c (N/mm²) [8.9.1.2] [8.9.4]</p> <p>・27 ・30 ・33 ・36</p> <p>適用箇所 ()</p> <p>混和材料 [8.9.3]</p> <p>※混和剤</p> <p>※高性能AE減水剤標準形又は遅延形</p> <p>13 鉄骨製作工場 [8.1.5]</p> <p>製作工場の加工能力</p> <p>・監督職員の承諾する製作工場</p> <p>・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国機構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「() グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。</p> <p>入熱、バス間温度の溶接条件</p> <p>適用箇所 ・図示 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件</p> <p>※図示</p> <p>適用箇所</p> <p>※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>・図示 ()</p> <p>鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件</p> <p>※図示</p> <p>14 入熱、バス間温度の溶接条件</p>	設計基準強度F _c (N/mm ²)	強度割増ΔF	温度補正値	施工箇所	スラップ	・18 ※21 ・24	3	標仕による	全体	18	※16		標仕による		15	※18		標仕による	土間、捨コンクリート	15	水和熱	7d	352J/g以下	28d	402J/g以下		種類	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スラップ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所	※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25mm		・軽量コンクリート	・	・	・20mm		<p>15 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>16 鋼材</p> <p>※適用する</p> <table border="1"> <tr> <th>鋼材の材質</th> <th>適用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>全て</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table> <p>※改良型スカラップ</p> <p>17 スカラップ</p> <p>18 高力ボルト</p> <p>高力ボルトの適用 [8.2.8]</p> <p>※トルシヤ高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜めっき高力ボルト</p> <p>19 鉄骨工作仮組</p> <p>・行う ※行わない [8.12.9]</p> <p>20 溶接部の試験</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8.14.11,12]</p> <p>※行う</p> <p>溶接部の種類 ※ B種 (JIS K 5621 1種) ・ A種 (JIS K 5622 1種) [7.8.3]</p> <p>塗装回数 工場1回、現場1回塗 [7.10.3]</p> <p>22 耐火被覆材 [8.17.2~6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>所要性能及び適用構造区分</th> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> </tr> <tr> <td>吹付け</td> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・湿式ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td></td> </tr> </table> <p>23 既存コンクリート面の目荒し [8.19.3] [8.20.3]</p> <p>適用範囲 [8.19.3] [8.20.3]</p> <p>※既存コンクリートとの打継ぎ面</p> <p>※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面</p> <p>・</p> <p>目荒らしの範囲</p> <p>※柱、梁、壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度</p> <p>※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度</p> <p>目荒らしの程度</p> <p>※平均深さ5~10mm (最大深さ10~15mm) 程度の凹部を施す</p> <p>24 あと施工アンカーの材料 [8.2.4]</p> <p>あと施工アンカーの材料 [8.2.4]</p> <p>・金属系アンカー (耐震補強用)</p> <p>※接着系アンカー</p> <p>接着剤の品質 ※有機系</p> <p>アンカー筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼</p> <p>・全ねじボルト</p> <p>25 あと施工アンカーの穿孔 [8.11.2]</p> <p>穿孔前の埋込み配管等の探査 [8.11.2]</p> <p>範囲 ※あと施工アンカー施工部分全て ・図示</p> <p>方法 ※探査器により探査し、配管等の位置の量出を行う</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>26 あと施工アンカーの施工確認試験 [8.11.5]</p> <p>アンカー筋 ※行う (確認強度は図示による)</p> <p>・行わない</p> <p>27 断熱材兼用型枠</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・断熱材兼用型枠</td> <td>・木質系</td> <td>※壁 (図示の範囲)</td> <td>断熱抵抗 = 厚さ / 熱伝導率 = 0.676以上 (m²・k/W)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・コンクリート系</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・プラスチック系</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの</p> <p>8-2 耐震改修工事</p> <p>1 打増し壁に用いるシアコネクタ [8.2.4]</p> <p>現場打ちコンクリート壁の打増しに用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※24 あと施工アンカーの材料による</p> <p>間隔 (mm) ※500×500 ・図示</p> <p>2 増設・補強工事のコンクリートの打込み [8.19.8] [8.21.5]</p> <p>工法の種類 [8.19.8] [8.21.5]</p> <p>流し込み工法または圧入工法</p> <p>3 柱補強 [8.21.5]</p> <p>溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</p> <p>柱頭柱脚の断熱部断熱材</p> <p>※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む ・図示</p> <p>4 連続繊維シート巻き [8.2.11]</p> <p>材料・形状</p> <p>採用した工法の規定を満足するもの</p> <p>材質</p> <p>引張り強度 (含浸硬化後)</p> <p>・2500N/mm 以上²</p> <p>・3000N/mm 以上²</p> <p>ヤング係数 (含浸硬化後)</p> <p>・2.35×10 N/mm² 程度²</p> <p>・2.00×10 N/mm² 以上²</p> <p>工法 [8.21.7]</p> <p>※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法</p> <p>・</p> <p>下地調整</p> <p>仕上げモルタルの除去 [8.21.7]</p> <p>※行う ・行わない</p> <p>柱の隅角部の面取り [8.21.7]</p> <p>※工法の評価内容による</p> <p>5 スリットの施工 [8.22.2]</p> <p>スリット部の配管等の探査 [8.22.2]</p> <p>※探査器により探査し、配管等の位置の量出を行う</p> <p>・はつり出し</p>	鋼材の材質	適用箇所	規格等	種類			SS400	全て	※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による	種別	所要性能及び適用構造区分	・ラス張りモルタル塗り		・耐火材	・乾式吹付けロックウール	吹付け	・半乾式吹付けロックウール		・湿式ロックウール	・耐火板張り		種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	・断熱材兼用型枠	・木質系	※壁 (図示の範囲)	断熱抵抗 = 厚さ / 熱伝導率 = 0.676以上 (m ² ・k/W)		・コンクリート系	・	・		・プラスチック系	・	・	<p>⑨ 環境配慮改修工事</p> <p>① アスベスト含有調査</p> <p>分析による確認</p> <p>・行う (下表による) ○調査済</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法</th> <th>1材料あたりの試料数</th> <th>調査結果</th> </tr> <tr> <td>外壁吹付タイル</td> <td>※定性分析 ()</td> <td>※定量分析 ()</td> <td>・有 ○無</td> </tr> <tr> <td>外部軒天アクリルシリン</td> <td>※定性分析 ()</td> <td>※定量分析 ()</td> <td>・有 ○無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ()</td> <td>※定量分析 ()</td> <td>・有 ・無</td> </tr> </table> <p>定性分析は厚生労働省通達H26.3.31付基発第0331第31号「建材中の石棉含有率分析方法」(以下「分析方法」という。)に基づく定性分析を行う。定量分析は分析方法に基づくエックス線回折分析法による定量分析を行う。(ただしH8.3.29付基発第188号「建築物の耐火等吹付け材の石棉含有率の判定方法について」による分析は行わないこと)</p> <p>2 アスベスト除去工事 [9.1.2] [表9.1.1,2]</p> <p>吹付けアスベストの施工数量調査 [9.1.2] [表9.1.1,2]</p> <p>※行う</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 ※行う</p> <p>表9.1.1及び表9.1.2による他、関係法令及び関係条例に定める方法により測定する。</p> <p>除去工事を行う当該建築物の敷地境界において、規制のある場合はその規制に従う。</p> <p>吹付けアスベストの除去範囲の器具等及び設備機器</p> <p>※行う</p> <p>・劣化、損傷によりたい積したアスベスト除去を行う。</p> <p>除去範囲、除去方法は図示</p> <p>・養生内の電灯設備等の取外し、撤去を行う。</p> <p>除去範囲、除去方法は図示</p> <p>吹付けアスベストのアスベスト処理後の機能回復のための工事 ※図示 [9.1.1]</p> <p>3 アスベスト含有保温材等の処理工事 [9.1.2] [表9.1.1~9.1.2]</p> <p>一般事項</p> <p>関係法令、都道府県の条例等を遵守し、必要な官公署手続き及び処理作業を行う。</p> <p>アスベスト含有保温材等の施工数量調査 ※行う</p> <p>9.1.2(a)(i)及びアスベスト含有保温材等の種類の確認</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.2] [表9.1.1~9.1.2]</p> <p>※行う 測定室 ・図示</p> <p>測定室 ・図示</p> <p>表9.1.1及び表9.1.2による他、関係法令及び関係条例に定める方法により測定する。</p> <p>設備配管の保温材の撤去</p> <p>・行う 図示</p> <p>処理を行うアスベスト成形材の仕様等 [9.1.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>含有率</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施工調査 ※行う [9.1.3]</p> <p>断熱材の種類 [9.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ビーズポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]</td> <td>・ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G]</td> <td>・フェノールフォーム</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]</td> <td>・グラスウール</td> </tr> </table> <p>外装材の種類 [9.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存外壁の仕上材の撤去 ・有り ・なし [9.3.3]</p> <p>下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様</p> <p>通気層 ・有り (mm) ・なし [9.3.4]</p> <p>試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける</p> <p>特記無き事項は、製造所の仕様による。</p> <p>6 ガラス改修工事 [9.4.2]</p> <p>複層ガラスの厚さ 建具による</p> <p>断熱性・日射遮蔽性による区分 ※U3-1 ・ U3-2</p> <p>7 屋上緑化改修工事 [9.6.1]</p> <p>システムの種類</p> <p>・管理型 ・省管理型</p> <p>その他特記事項は図示</p> <p>質量の上限値 () kg/m²</p> <p>8 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.4] [表9.7.5]</p> <p>路盤材料 [9.7.4] [表9.7.5]</p> <p>※再生クラッシャーラン (RC-40)</p> <p>・クラッシャーラン (C-40) 又はクラッシャーラスタグ (CS-40)</p> <p>透水性の高いものを使用する</p> <p>遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]</p> <p>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂</p> <p>厚さは図示</p> <p>・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切り込み砂利 ・砂</p> <p>厚さは図示</p> <p>盛り土に用いる材料 [9.7.3] [表9.7.1]</p> <p>・A種 ※B種 ・C種 ・D種</p> <p>路床安定処理 [9.7.3] [表9.7.3]</p> <p>※添加材料による安定処理</p> <p>種類</p> <p>・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種</p> <p>・高炉セメント B種 [G]</p> <p>・生石灰 ()</p> <p>・消石灰 ()</p> <p>添加量 kg/m (自働OBR ※5以上 ()</p> <p>路床土の支持力試験 ※行う (※乱し土 ・ 乱さない土)</p> <p>路床締固め度の試験 ※行う</p> <p>アスファルト混合物 [9.7.6] [表9.7.7]</p> <p>車道部 ※改質アスファルト I型</p> <p>歩道部 ※ストレートアスファルト</p> <p>透水性舗装 [9.7.9]</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う</p> <p>9 PCB含有シーリング材処分 [9.7.9]</p> <p>・第一次判定</p> <p>現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する。</p> <p>採取箇所数 計 図示</p> <p>採取箇所 ※図示</p> <p>・第二次判定</p> <p>専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う</p> <p>分析回数 計 箇所</p> <p>・除去処理工事</p> <p>除去範囲 ※図示</p>	材料名	調査方法	1材料あたりの試料数	調査結果	外壁吹付タイル	※定性分析 ()	※定量分析 ()	・有 ○無	外部軒天アクリルシリン	※定性分析 ()	※定量分析 ()	・有 ○無		※定性分析 ()	※定量分析 ()	・有 ・無	材料名 (製品名)	含有するアスベストの種類	含有率	処理を行う範囲									材料名	厚さ (mm)	・ビーズポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]	・ロックウール	・硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G]	・フェノールフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]	・グラスウール		防火性能		
	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																				
	・RA種	・図示による																																																																																																																																																																																																																				
	※RB種	※RA種、RC種以外全て(内部) ・図示による																																																																																																																																																																																																																				
	・RC種	・図示による																																																																																																																																																																																																																				
	下地の種類	錆止め塗料の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類																																																																																																																																																																																																																		
	鉄鋼面	※A種 ・B種	・A種 ・B種 ※C種	見掛け部分 ※A種 ・B種 見隠れ部分 ・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																		
	塗鉛めっき面	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種 ※C種	新規鋼製建具等※A種 ・B種 その他 ・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																		
	下地の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類																																																																																																																																																																																																																			
	木部	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																			
※垂れめっき面	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																				
鋼製建具	・鉄鋼面 ・鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																				
その他	※垂れめっき面 ※鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																				
下地の種類	工程等	塗替えの種類	新規塗りの種類																																																																																																																																																																																																																			
コンクリート、モルタル面等	下地調整	・RA種 ※RB種 ・RC種	「塗料その他の欄」による																																																																																																																																																																																																																			
	塗り種別	・A種 ※B種	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																			
下地の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類																																																																																																																																																																																																																				
鉄鋼面	・A種 ○B種 ・C種	※A種																																																																																																																																																																																																																				
塗鉛めっき鋼面	・A種 ○B種 ・C種	※A種																																																																																																																																																																																																																				
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ○B-2種 ・C-1種 ・C-2種	・A-1種 ○B-1種 ・C-1種																																																																																																																																																																																																																				
下地の種類	塗替えの種類	新規塗りの種類																																																																																																																																																																																																																				
コンクリート面、モルタル面等	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																				
木部	・A種 ※B種 ・C種	※A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																				
鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																				
塗鉛めっき面	・A種 ※B種 ・C種	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																				
塗替えの場合	新規塗りの種類																																																																																																																																																																																																																					
下地調整	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																																					
RB種の場合	※A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																					
適用箇所	塗料																																																																																																																																																																																																																					
・	・油性 ・水性																																																																																																																																																																																																																					
・	・油性 ・水性																																																																																																																																																																																																																					
設計基準強度F _c (N/mm ²)	強度割増ΔF	温度補正値	施工箇所	スラップ																																																																																																																																																																																																																		
・18 ※21 ・24	3	標仕による	全体	18																																																																																																																																																																																																																		
※16		標仕による		15																																																																																																																																																																																																																		
※18		標仕による	土間、捨コンクリート	15																																																																																																																																																																																																																		
水和熱	7d	352J/g以下																																																																																																																																																																																																																				
28d	402J/g以下																																																																																																																																																																																																																					
種類	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スラップ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																		
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25mm																																																																																																																																																																																																																			
・軽量コンクリート	・	・	・20mm																																																																																																																																																																																																																			
鋼材の材質	適用箇所	規格等																																																																																																																																																																																																																				
種類																																																																																																																																																																																																																						
SS400	全て	※JIS規格による																																																																																																																																																																																																																				
		※JIS規格による																																																																																																																																																																																																																				
		※JIS規格による																																																																																																																																																																																																																				
種別	所要性能及び適用構造区分																																																																																																																																																																																																																					
・ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																																																																																						
・耐火材	・乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																																																																					
吹付け	・半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																																																																																					
	・湿式ロックウール																																																																																																																																																																																																																					
・耐火板張り																																																																																																																																																																																																																						
種類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等																																																																																																																																																																																																																			
・断熱材兼用型枠	・木質系	※壁 (図示の範囲)	断熱抵抗 = 厚さ / 熱伝導率 = 0.676以上 (m ² ・k/W)																																																																																																																																																																																																																			
	・コンクリート系	・	・																																																																																																																																																																																																																			
	・プラスチック系	・	・																																																																																																																																																																																																																			
材料名	調査方法	1材料あたりの試料数	調査結果																																																																																																																																																																																																																			
外壁吹付タイル	※定性分析 ()	※定量分析 ()	・有 ○無																																																																																																																																																																																																																			
外部軒天アクリルシリン	※定性分析 ()	※定量分析 ()	・有 ○無																																																																																																																																																																																																																			
	※定性分析 ()	※定量分析 ()	・有 ・無																																																																																																																																																																																																																			
材料名 (製品名)	含有するアスベストの種類	含有率	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																			
材料名	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																					
・ビーズポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]	・ロックウール																																																																																																																																																																																																																					
・硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G]	・フェノールフォーム																																																																																																																																																																																																																					
・押出法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]	・グラスウール																																																																																																																																																																																																																					
	防火性能																																																																																																																																																																																																																					



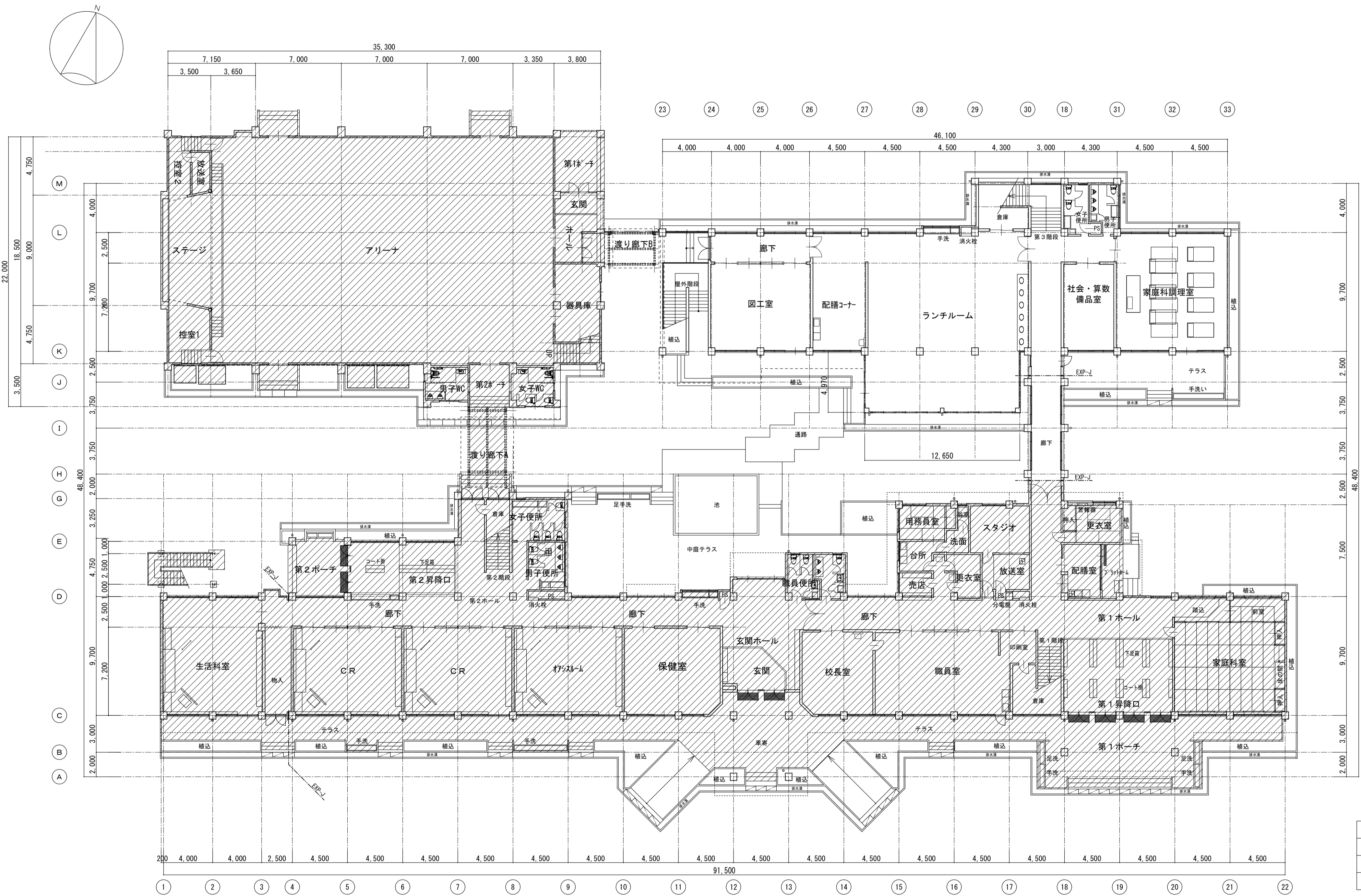
配置図 S=1/400



- 特記事項
- 生徒及び職員の安全と事故防止に努めるとともに、場内を工事用車両等が通行する場合は、交通誘導員等が通行人の安全を確認誘導するとともに、工事用車両の徐行を励行すること。
 - 施工に際して施工時期・工法等について、監督職員及び施設担当者とは十分打合せ協議の上、決定すること。
 - 工事時の騒音、粉塵対策にも十分配慮した施工計画を作成すること。
 - 騒音又は振動を伴う工事については、学校側と随時協議を行い、授業、学校行事に支障なきよう実施工程を作成すること。
 - 施工に際しては適切な落下・墜落防止措置を講ずること。
 - 本工事により、既設建物・舗装等に損傷・破損等を与えた場合、速やかに監督職員に報告し、請負者の責任において現況復旧を行うこと。

- 凡例
- 本工事対象部分を示す。
 - 本工事対象外部分を示す。
 - 工事車両進入経路を示す。
 - 職員・来館者進入経路を示す。

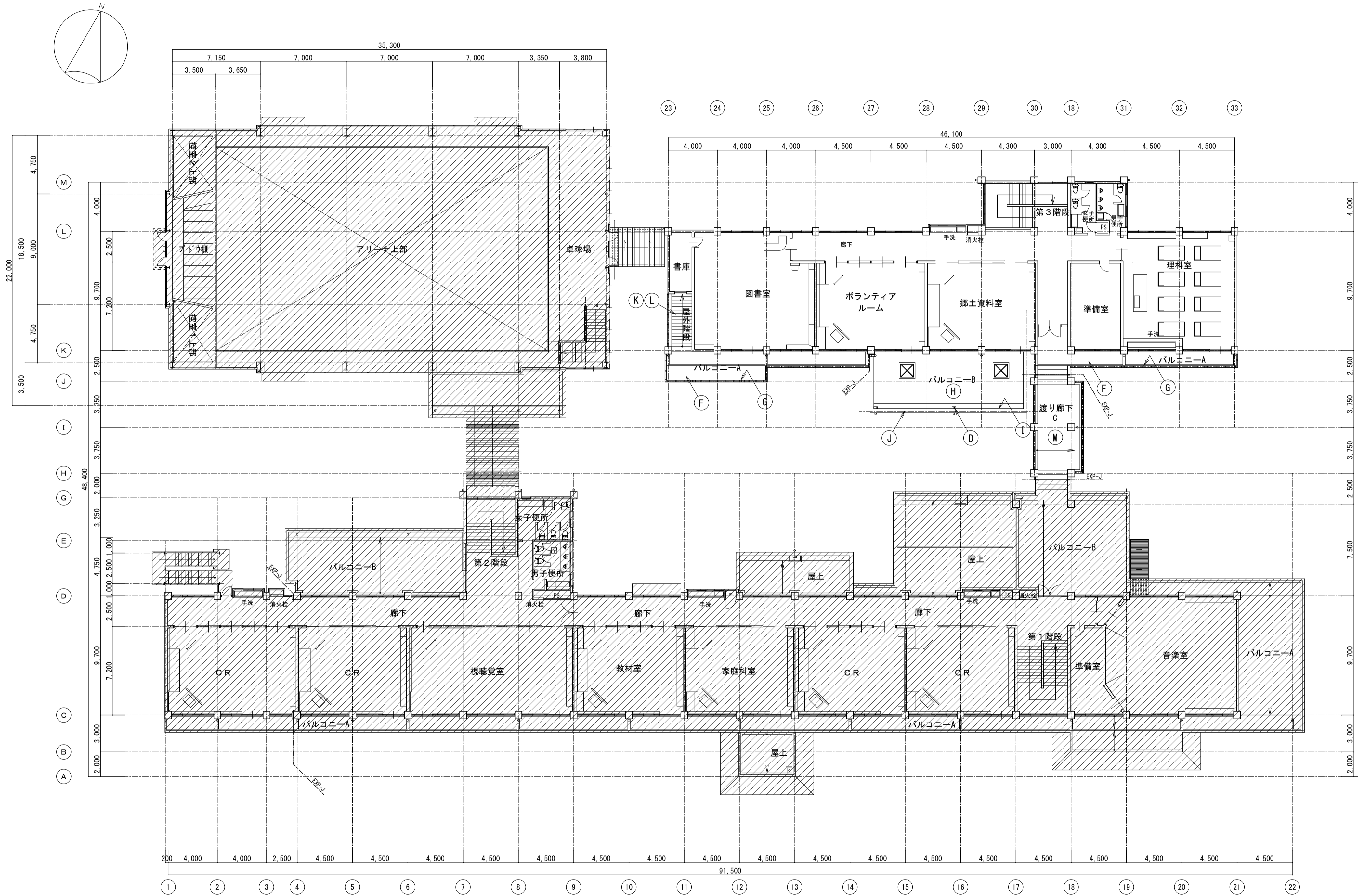
- 工事概要
- 北校舎の屋上及び外壁等の外装改修工事
 - 渡り廊下Bの鉄部塗り替え工事



【凡例】

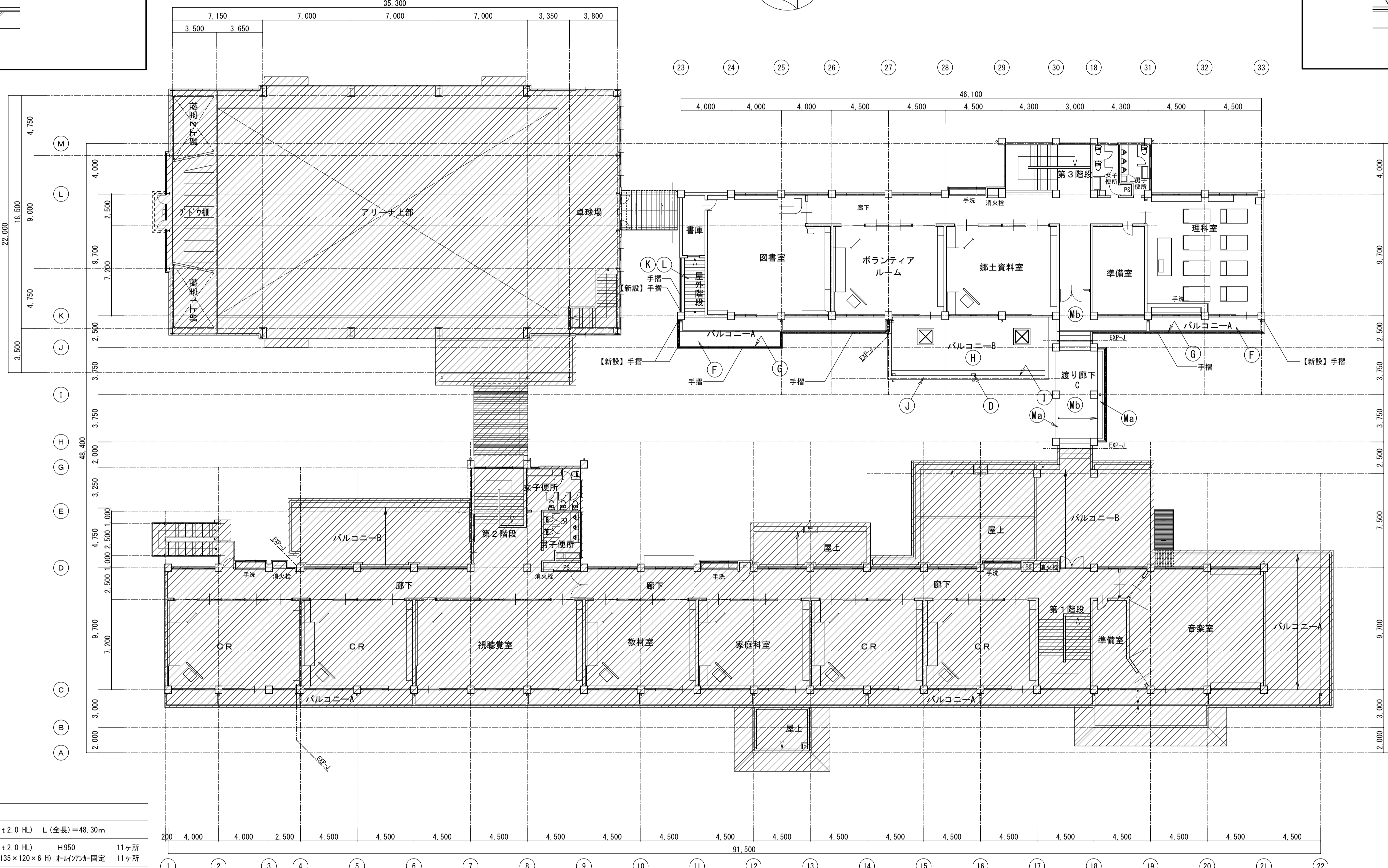
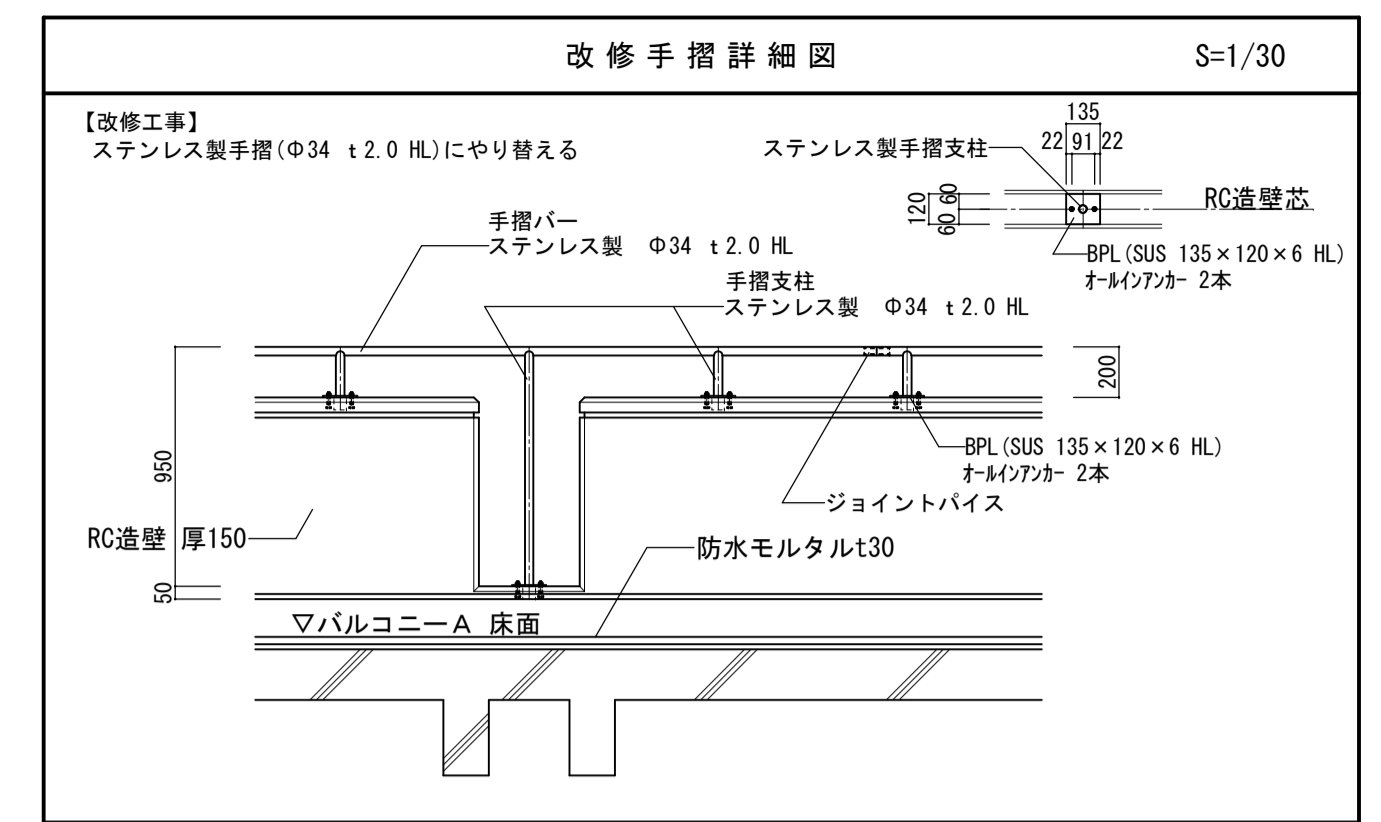
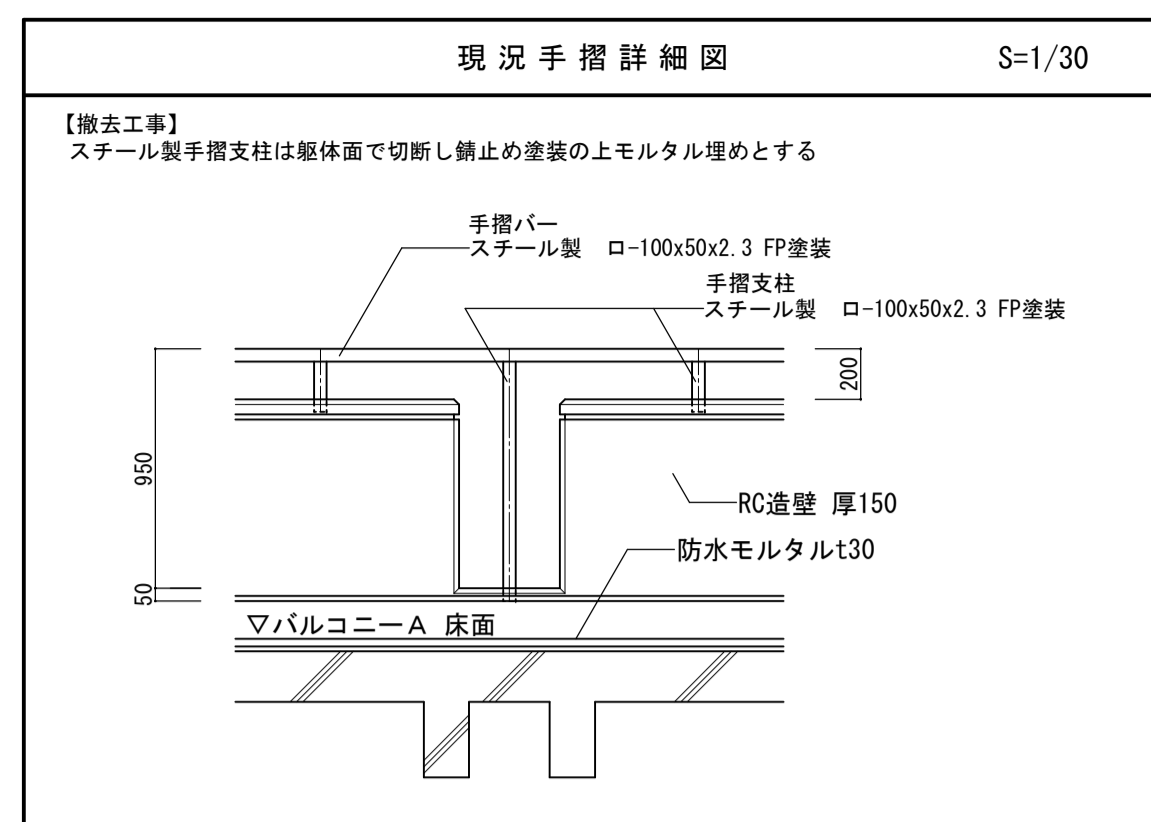
	本工事対象範囲を示す
	本工事対象外範囲を示す

現況 1階平面図 S=1/200



現況 2階平面図 S=1/200

現況・撤去 外部仕上表		改修 外部仕上表		現況・撤去 外部仕上表		改修 外部仕上表	
(A)	屋上(平場)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修(平場部x10%) 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x60【撤去】	(A)	屋上(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒(1カ所/70㎡)9カ所【新設】	(H)	バルコニーB(平場)部: シート防水【撤去】	(H)	バルコニーB(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5(非歩行用) 機械固定工法S-M2【新設】
(B)	屋上(立上)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修(立上部x30%)	(B)	屋上(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	(I)	バルコニーB(立上)部: シート防水【撤去】	(I)	バルコニーB(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
(C)	屋上(立上)部: 防水押えアングル(シール共)【撤去】	(C)	なし	(J)	バルコニーB(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【撤去】	(J)	バルコニーB(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【新設】
(D)	屋上(ドレン)部: タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	(D)	屋上(ドレン)部: ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)9カ所【新設】 ヨコ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)2カ所【新設】	(K)	屋外階段(踏面・踊場)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	(K)	屋外階段(踏面)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa) 屋外階段(踊場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)
(E)	屋上(笠木・頭・機械基礎)部: コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	(E)	屋上(笠木・頭・機械基礎)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	(L)	屋外階段(ササラ・巾木)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	(L)	屋外階段(ササラ・巾木)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、ウレタン塗膜防水【新設】
(F)	バルコニーA(平場)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	(F)	バルコニーA(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	(Ma)	渡り廊下C(平場)部: シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】	(Ma)	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
(G)	バルコニーA(巾木・溝)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	(G)	バルコニーA(巾木・溝)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	(Mb)	渡り廊下C(平場)部: シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	(Mb)	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】



改修手摺(バルコニー)仕様

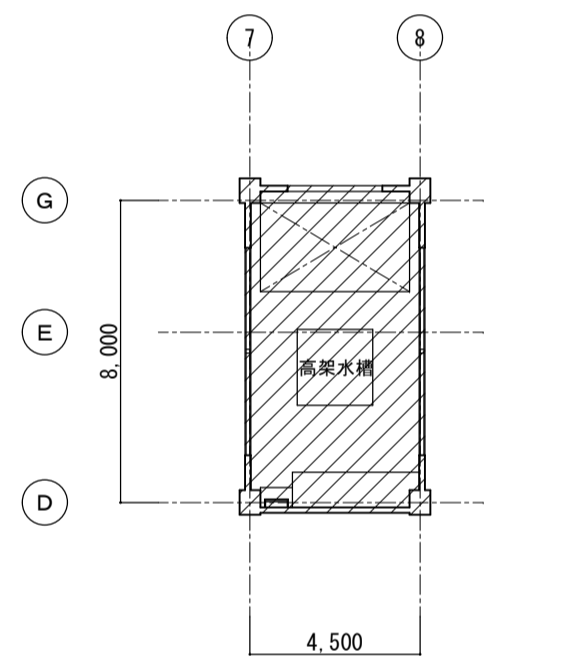
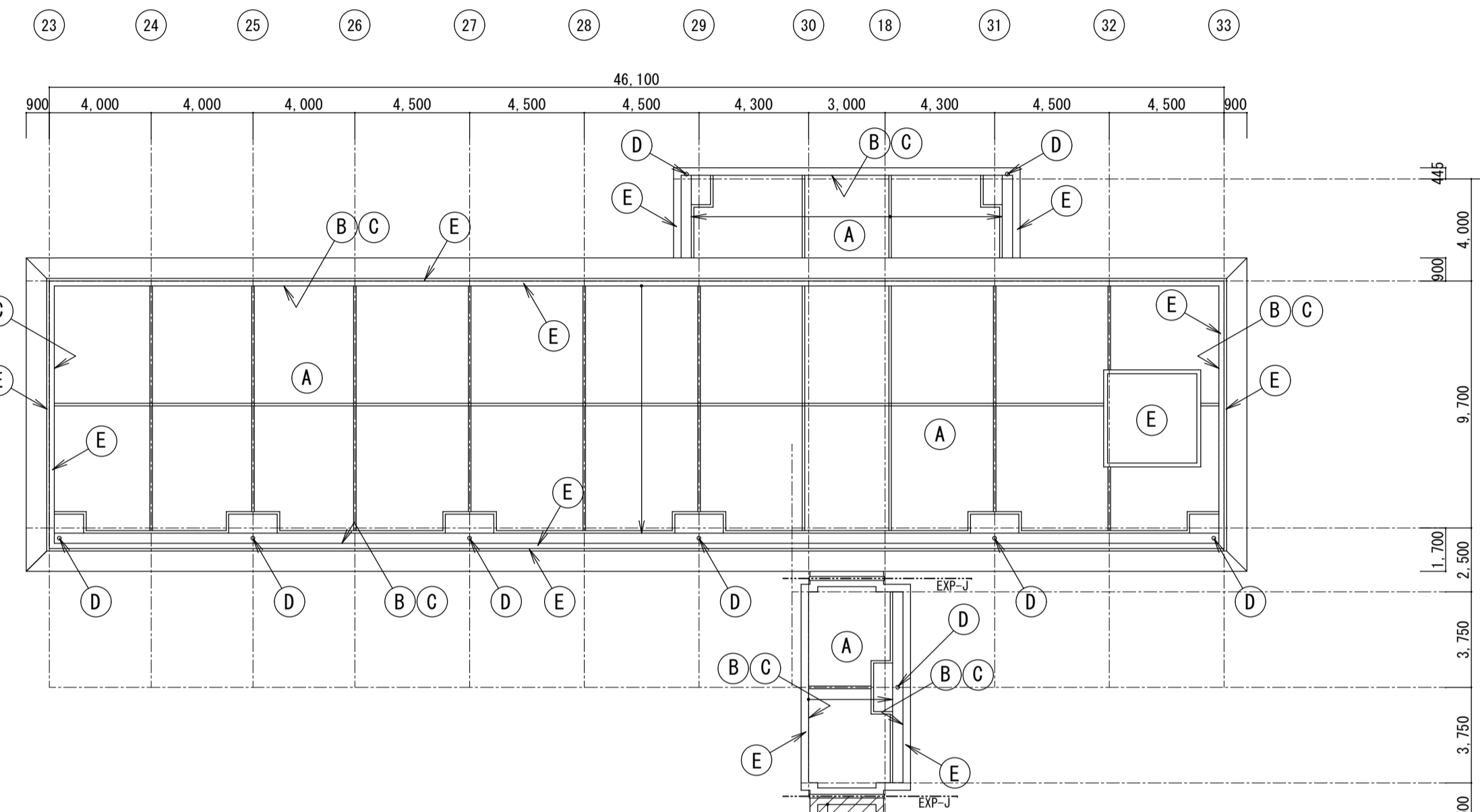
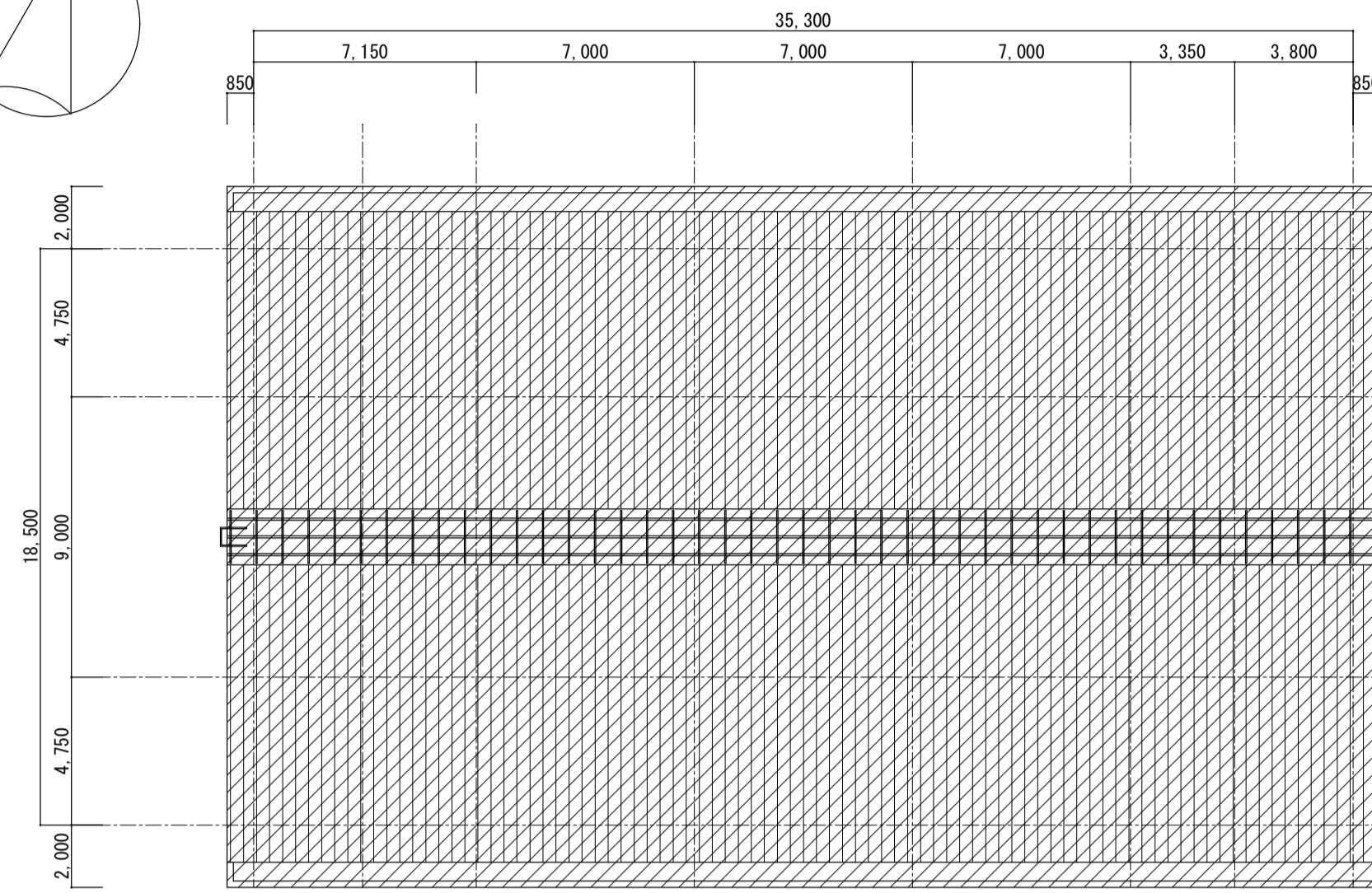
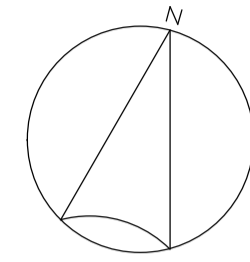
【やり替え】	ステンレス(SUS)製手摺バー (φ34 t2.0 HL) L(全長)=48.30m		
【やり替え】	同上	支柱 (φ34 t2.0 HL) H950	11ヶ所
		BPL (SUS 135x120x6 HL) 4-M12/A6-固定	11ヶ所
【やり替え】	同上	支柱 (φ34 t2.0 HL) H200	54ヶ所
		BPL (SUS 135x120x6 HL) 4-M12/A6-固定	54ヶ所
【新設】	同上	支柱 (φ34 t2.0 HL) H200	8ヶ所
		BPL (SUS 135x120x6 HL) 4-M12/A6-固定	8ヶ所

【凡例】

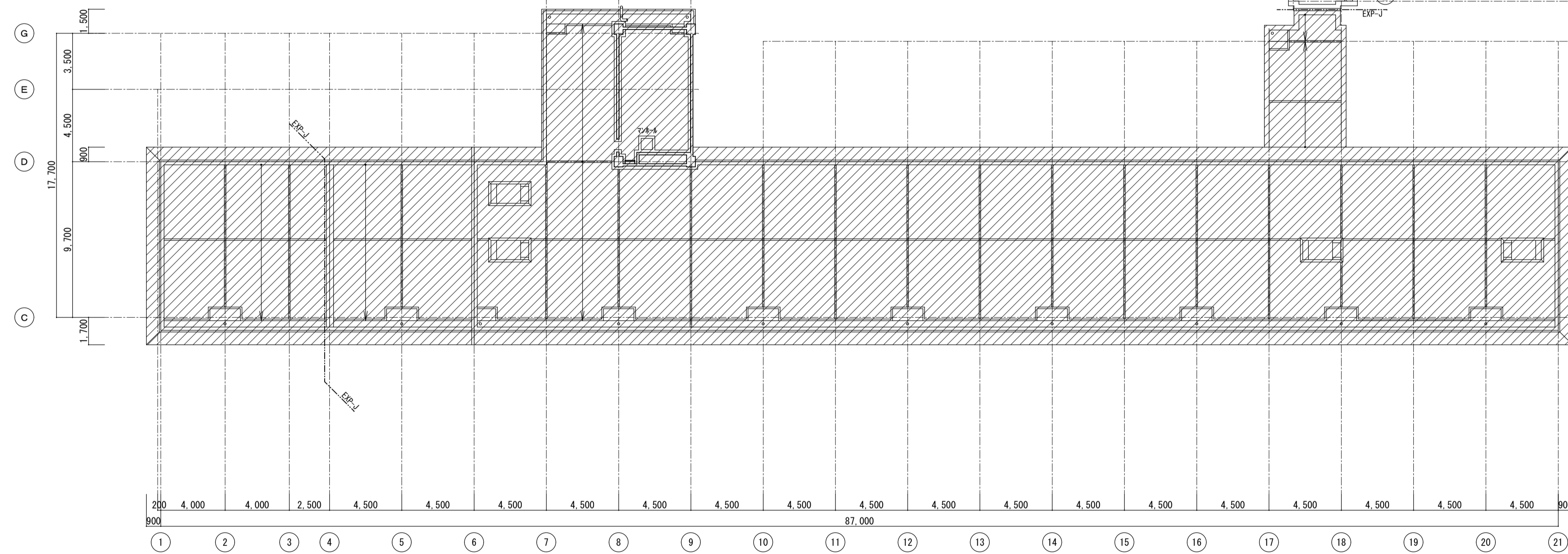
	本工事対象範囲を示す
	本工事対象外範囲を示す

改修 2階平面図 S=1/200

現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
A 屋上(平場)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、浴着補修(平場部x10%) 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x60【撤去】	A 屋上(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒(1ヶ所/70㎡)9ヶ所【新設】	H バルコニー-B(平場)部: シート防水【撤去】	H バルコニー-B(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5(非歩行用) 機械固定工法S-M2【新設】
B 屋上(立上)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、浴着補修(立上部x30%)	B 屋上(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	I バルコニー-B(立上)部: シート防水【撤去】	I バルコニー-B(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
C 屋上(立上)部: 防水押えアングル(シール共)【撤去】	C なし	J バルコニー-B(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【撤去】	J バルコニー-B(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【新設】
D 屋上(ドレン)部: タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9ヶ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2ヶ所【撤去】	D 屋上(ドレン)部: ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)9ヶ所【新設】 ヨコ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)2ヶ所【新設】	K 屋外階段(踏面・踊場)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	K 屋外階段(踏面)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa) 屋外階段(踊場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)
E 屋上(笠木・頭・機械基礎)部: コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	E 屋上(笠木・頭・機械基礎)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	L 屋外階段(ササラ・巾木)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	L 屋外階段(ササラ・巾木)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、ウレタン塗膜防水【新設】
F バルコニー-A(平場)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	F バルコニー-A(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	M 渡り廊下C(平場)部: シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	Ma 渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
G バルコニー-A(巾木・溝)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	G バルコニー-A(巾木・溝)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	Mb 渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】	Mb 渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】



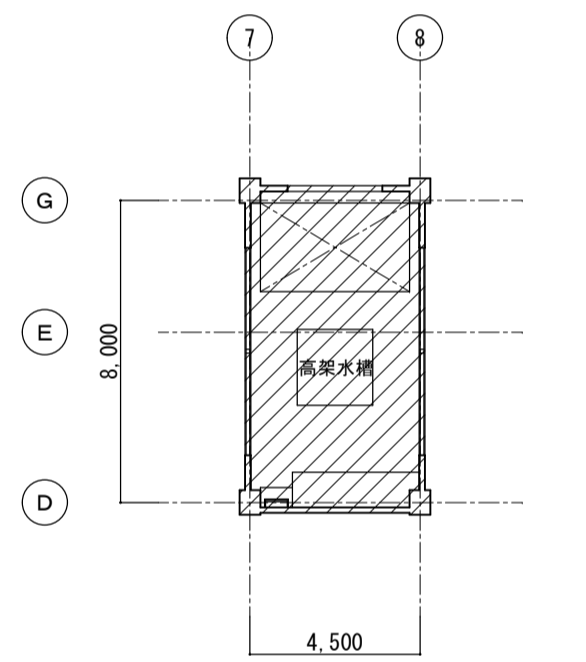
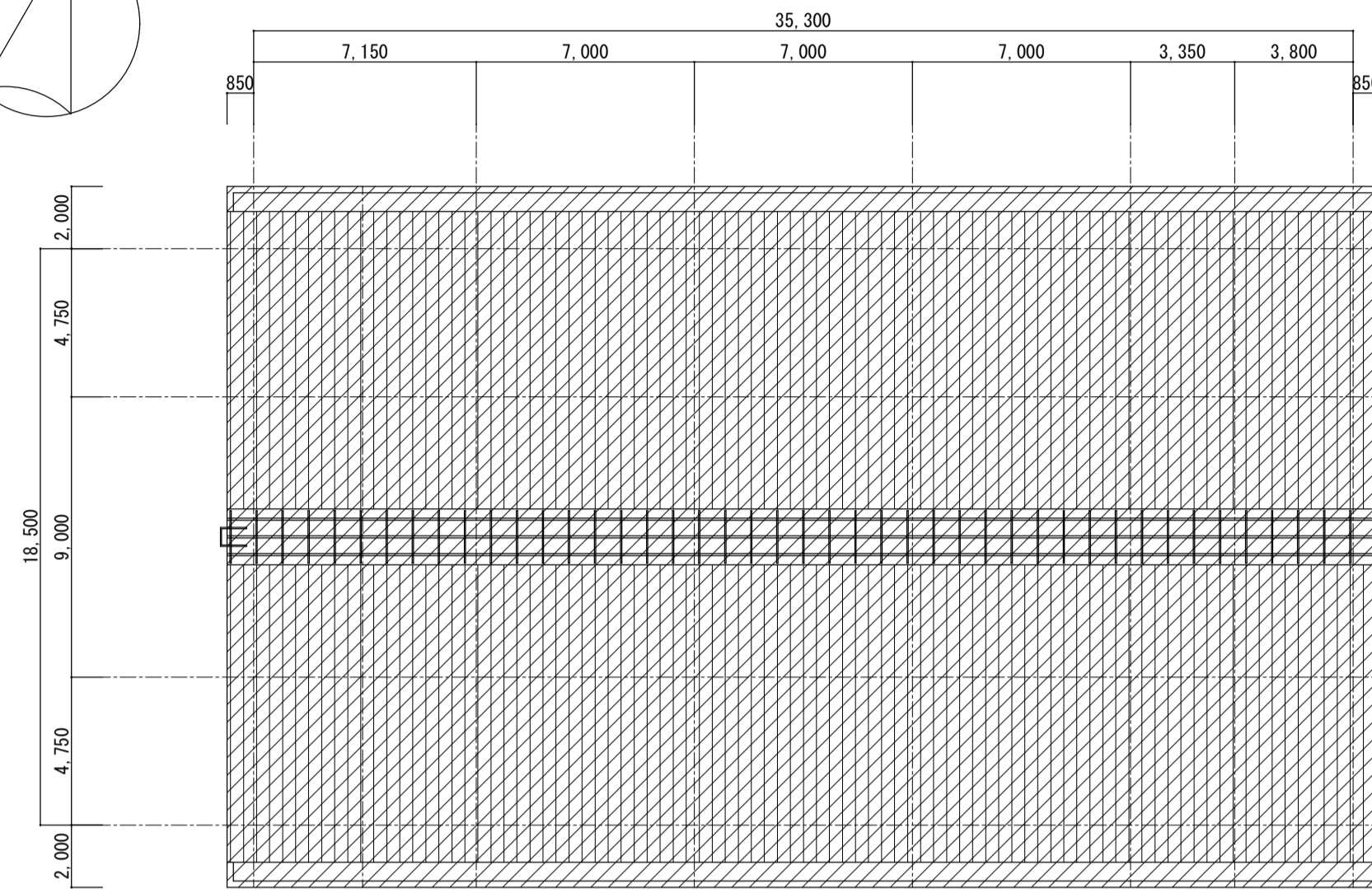
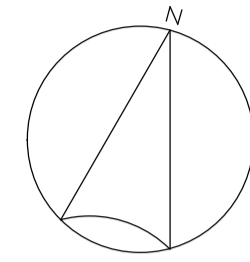
現況 PH階平面図 S=1/200



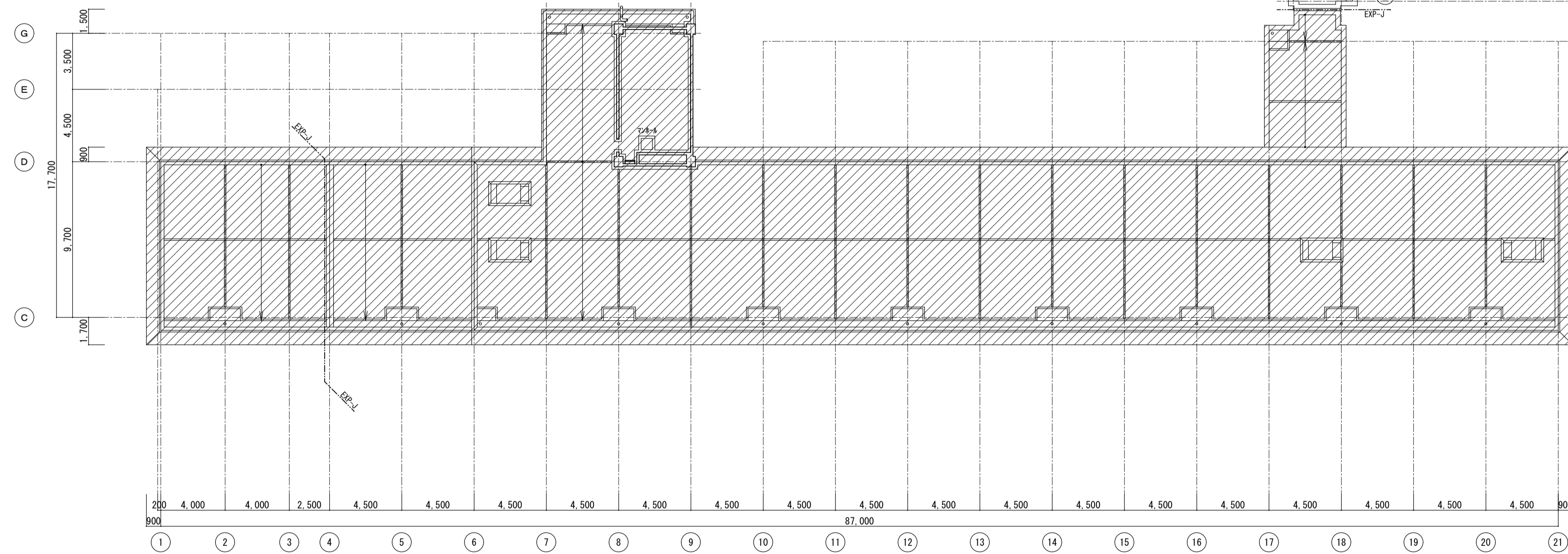
現況 屋上平面図 S=1/200

【凡例】	
	本工事対象範囲を示す
	本工事対象外範囲を示す

現況・撤去 外部仕上表		改修 外部仕上表		現況・撤去 外部仕上表		改修 外部仕上表	
(A)	屋上(平場)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修(平場部x10%) 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x60【撤去】	(A)	屋上(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒(1カ所/70㎡)9カ所【新設】	(H)	バルコニー-B(平場)部: シート防水【撤去】	(H)	バルコニー-B(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5(非歩行用) 機械固定工法S-M2【新設】
(B)	屋上(立上)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修(立上部x30%)	(B)	屋上(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	(I)	バルコニー-B(立上)部: シート防水【撤去】	(I)	バルコニー-B(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
(C)	屋上(立上)部: 防水押えアングル(シール共)【撤去】	(C)	なし	(J)	バルコニー-B(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【撤去】	(J)	バルコニー-B(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【新設】
(D)	屋上(ドレン)部: タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	(D)	屋上(ドレン)部: ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)9カ所【新設】 ヨコ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)2カ所【新設】	(K)	屋外階段(踏面・踊場)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	(K)	屋外階段(踏面)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa) 屋外階段(踊場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)
(E)	屋上(笠木・頭・機械基礎)部: コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	(E)	屋上(笠木・頭・機械基礎)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	(L)	屋外階段(ササラ・巾木)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	(L)	屋外階段(ササラ・巾木)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、ウレタン塗膜防水【新設】
(F)	バルコニー-A(平場)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	(F)	バルコニー-A(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	(M)	渡り廊下C(平場)部: シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	(Ma)	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
(G)	バルコニー-A(巾木・溝)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	(G)	バルコニー-A(巾木・溝)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】			(Mb)	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】



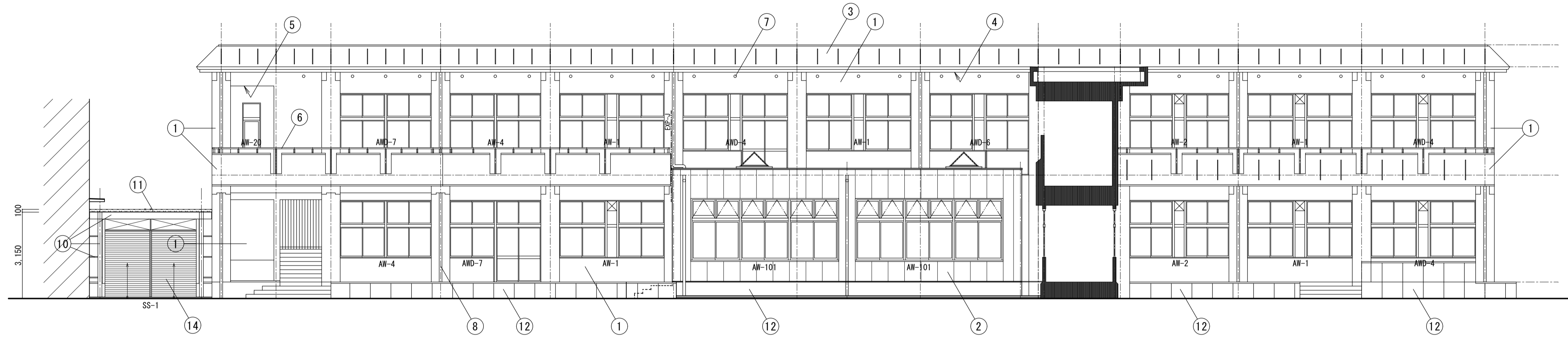
改修 PH階平面図 S=1/200



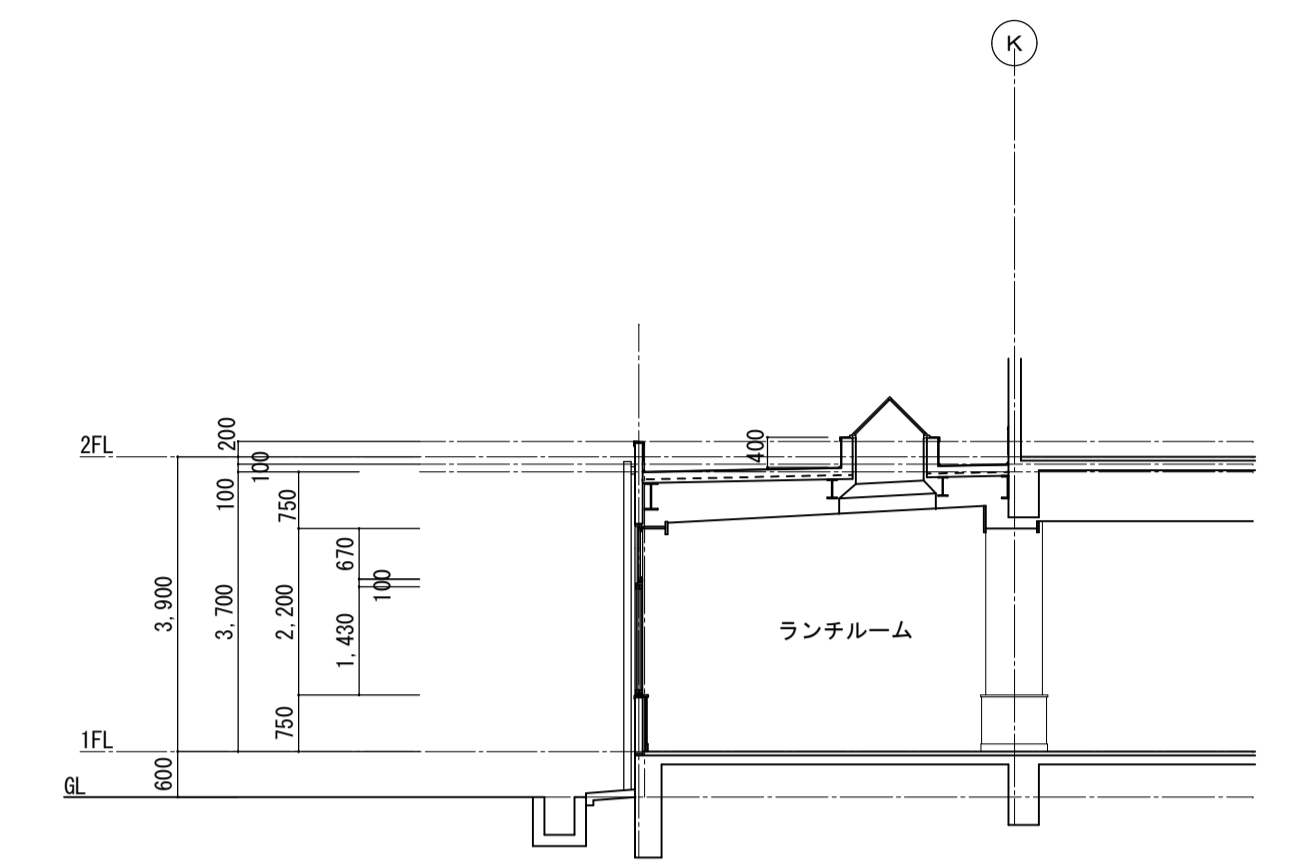
改修 屋上平面図 S=1/200

【凡例】	
	本工事対象範囲を示す
	本工事対象外範囲を示す

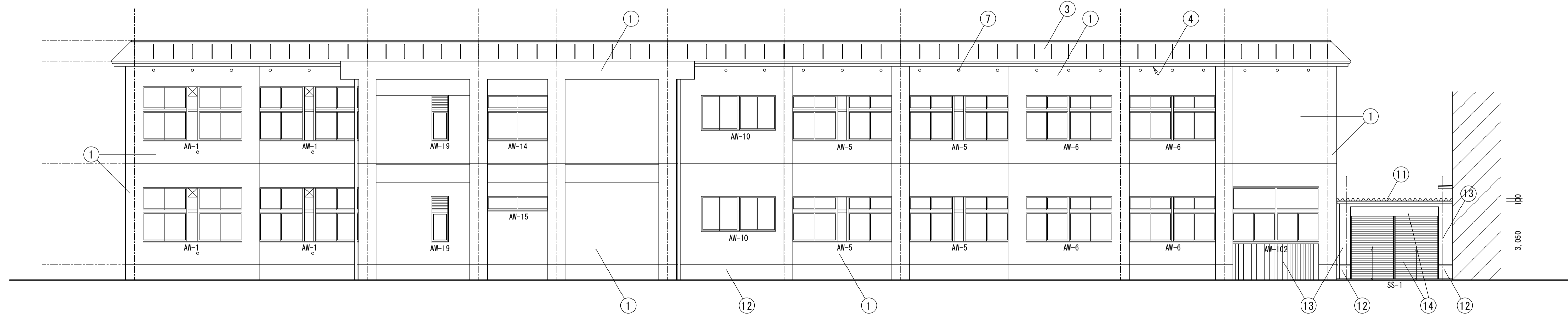
現況・撤去 外部仕上表		改修 外部仕上表		現況・撤去 外部仕上表		改修 外部仕上表	
A	屋上(平場)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修(平場部x10%) 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x60【撤去】	A	屋上(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒(1カ所/70㎡)9カ所【新設】	H	バルコニー-B(平場)部: シート防水【撤去】	H	バルコニー-B(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5(非歩行用) 機械固定工法S-M2【新設】
B	屋上(立上)部: アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修(立上部x30%)	B	屋上(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、塩ビシート防水(非歩行) t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	I	バルコニー-B(立上)部: シート防水【撤去】	I	バルコニー-B(立上)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
C	屋上(立上)部: 防水押えアングル(シール共)【撤去】	C	なし	J	バルコニー-B(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【撤去】	J	バルコニー-B(笠木)部: アルミ製笠木 W=180【新設】
D	屋上(ドレン)部: タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	D	屋上(ドレン)部: ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)9カ所【新設】 ヨコ引型φ100改修用塩ビ成形ドレン(ストレーナ共)2カ所【新設】	K	屋外階段(踏面・踊場)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	K	屋外階段(踏面)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa) 屋外階段(踊場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)
E	屋上(笠木・頭・機械基礎)部: コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	E	屋上(笠木・頭・機械基礎)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	L	屋外階段(ササラ・巾木)部: 防水モルタルコテ押え【既存のまま】	L	屋外階段(ササラ・巾木)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)の上、ウレタン塗膜防水【新設】
F	バルコニー-A(平場)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	F	バルコニー-A(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	M	渡り廊下C(平場)部: シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	Ma	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
G	バルコニー-A(巾木・溝)部: 防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	G	バルコニー-A(巾木・溝)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	Mb	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】	Mb	渡り廊下C(平場)部: ケレン清掃、高圧洗浄(10~15Mpa)、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】



南側立面図 S=1/100

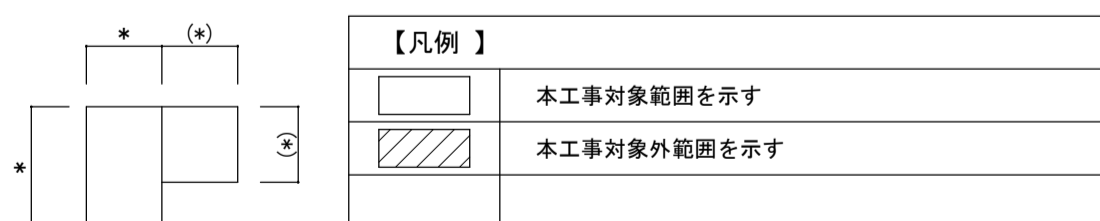


ランチルーム断面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

符号	幅 (mm)	高 (mm)	数量
AWD-4	3,820 (2,155)	2,950 (2,050)	3
AWD-7	3,320 (1,695)	2,950 (2,050)	2
AW-1	3,820	2,050	9
AW-2	3,620	2,050	2
AW-4	3,320	2,050	2
AW-5	3,820	1,700	2
AW-6	3,320	1,700	2
AW-10	2,835	1,300	2
AW-14	2,320	1,700	1
AW-15	2,320	500	1
AW-19	600	1,700	2
AW-20	600	1,700	1
AW-101	5,300	2,200	2
AW-102	3,320	2,200	1
SS-1	2,780	3,400	1

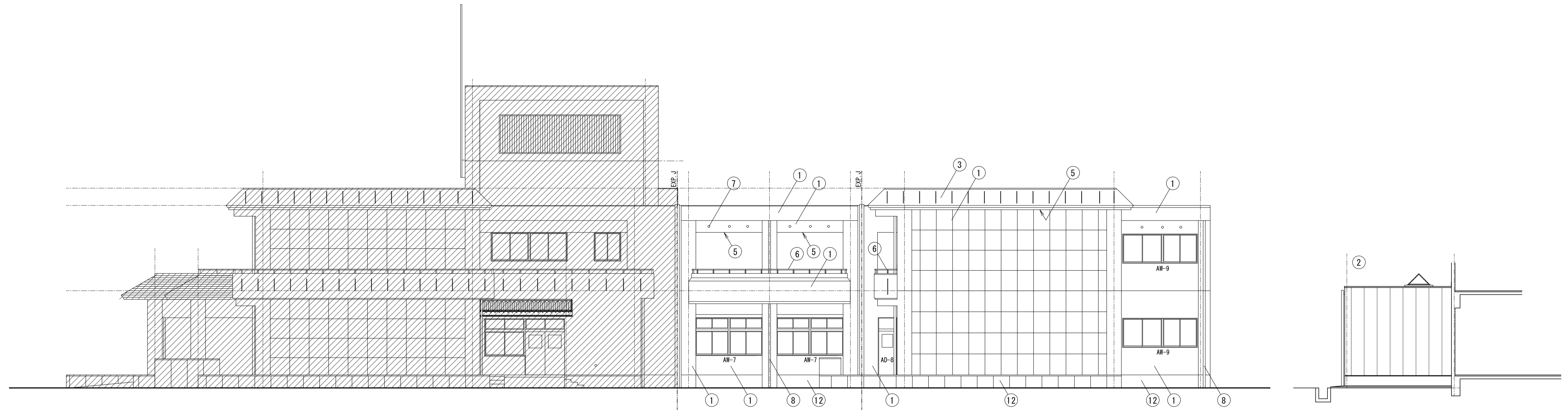


外壁色は2色とし、以下のとおりとすること。
 基本：アイボリー 日塗工 22-90B (マンセル値 2.5Y9/1)
 アクセント：エンジ 日塗工 07-30L (マンセル値 7.5R3/6)

現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
①	外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	①	外壁：RC下地、高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色
②	外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	②	外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
③	庇天端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③	庇天端：RC下地、高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
④	軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部 (屋外階段) 木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④	軒天：高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部 (屋外階段) ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑤	渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤	渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑥	手摺：スチール製手摺 100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥	手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】
⑦	換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦	換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】

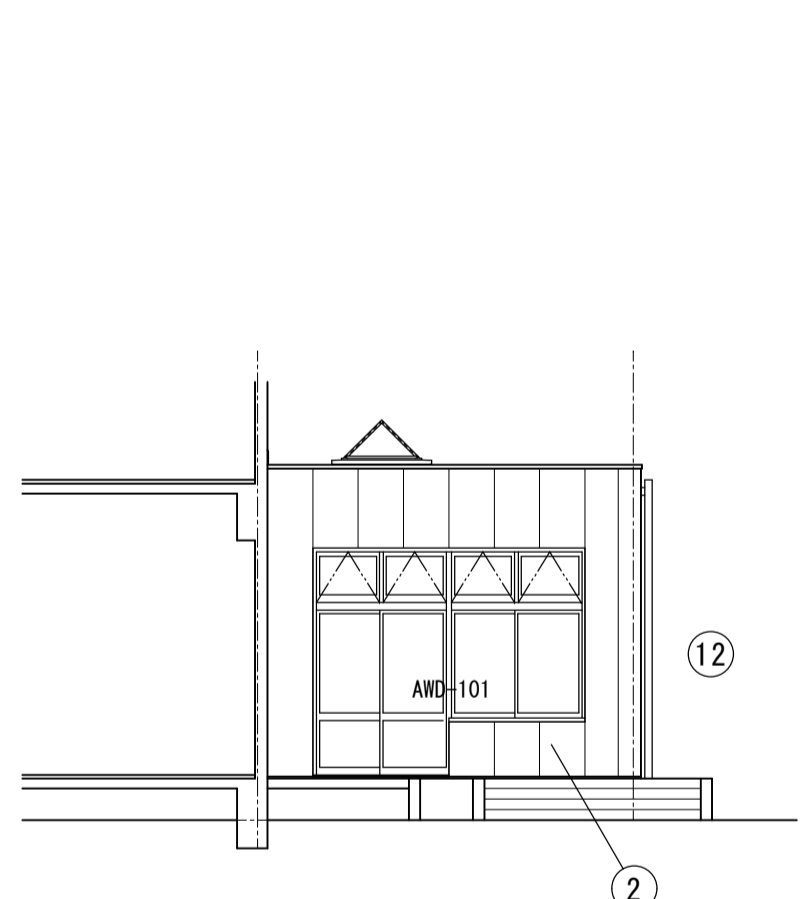
現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
⑧	壁種：VPΦ100 VP塗装 掘み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧	壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑨	屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨	屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑩	渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩	渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑪	渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪	渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折版用塗料 (シリコン系弱溶剤)【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 表面：高圧洗浄のみ
⑫	巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 植込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫	巾木・植込部：高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
⑬	腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬	腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り
⑭	スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭	腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り

改修	特記事項
①	打継目地：撤去打替え (PU-2) ノンブリードタイプ
②	建具廻り・建具水切り下：撤去打替え (MS-2) ノンブリードタイプ
③	EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え (MS-2) ノンブリードタイプ
④	・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄 (10~15Mpa) を行う事。
⑤	・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
⑥	・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
⑦	・塗装面削孔時は十分に湿潤すること。

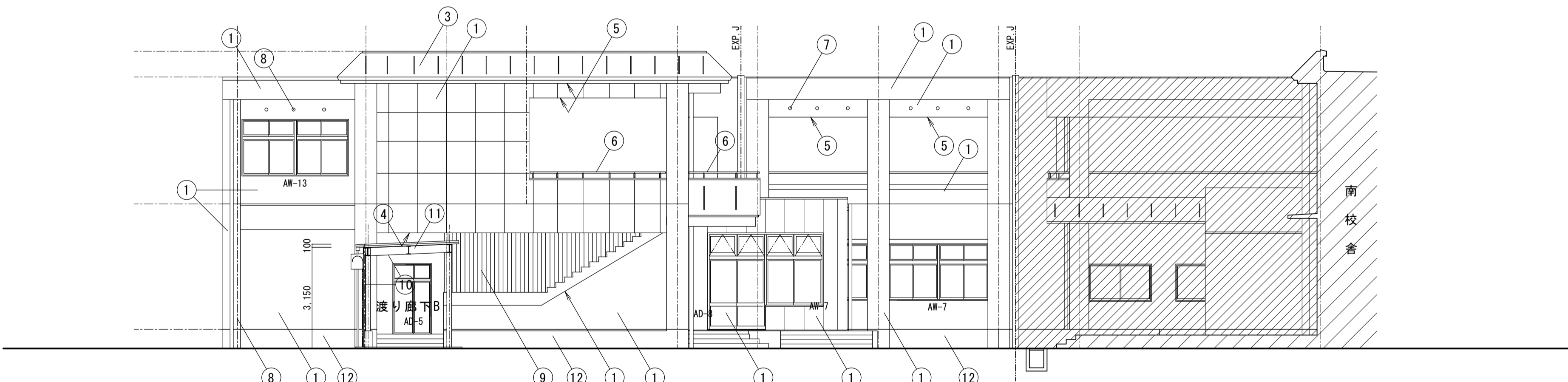


東側立面図 S=1/100

ランチルーム増築部 東側立面図 S=1/100



ランチルーム増築部 西側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

符号	幅 (mm)	高 (mm)	数量
AD-5	1,800	2,600	1
AD-8	800	2,600	2
AWD-101	3,500 (1,785)	2,950 (2,200)	1
AW-7	3,070	1,700	4
AW-9	3,470	1,300	2
AW-13	3,265	1,700	1

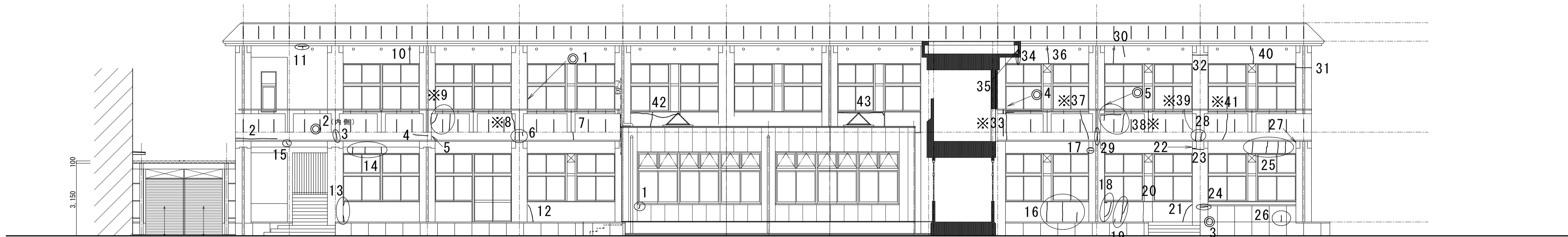
	本工程対象範囲を示す
	本工程対象外範囲を示す

外壁色は2色とし、以下のとおりとすること。
 基本：アイボリー 日塗工 22-90B (マンセル値 2.5Y9/1)
 アクセント：エンジ 日塗工 07-30L (マンセル値 7.5R3/6)

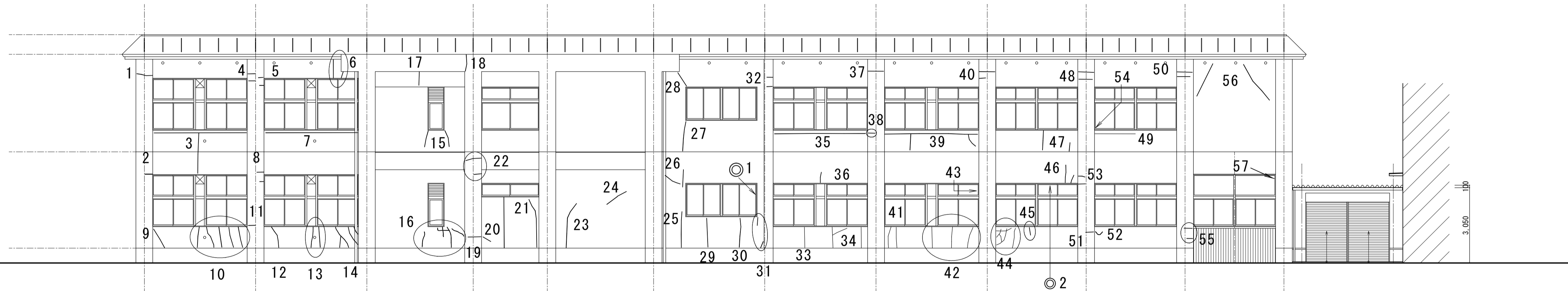
現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
①	外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	①	外壁：RC下地、高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色
②	外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	②	外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
③	庇天端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③	庇天端：RC下地、高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
④	軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部 (屋外階段) 木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④	軒天：高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部 (屋外階段) ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑤	渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤	渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑥	手摺：スチール製手摺 100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥	手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】
⑦	換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦	換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】

現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
⑧	壁種：VPΦ100 VP塗装 掘み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧	壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑨	屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨	屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑩	渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩	渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑪	渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪	渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折版用塗料 (シリコン系弱溶剤)【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 表面：高圧洗浄のみ
⑫	巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 植込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫	巾木・植込部：高圧洗浄 (10~15Mpa)、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
⑬	腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬	腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り
⑭	スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭	腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り

改修	特記事項
⑧	打継目地：撤去打替え (PU-2) ノンブリードタイプ
⑨	建具廻り・建具水切り下：撤去打替え (MS-2) ノンブリードタイプ
⑩	EXP. J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え (MS-2) ノンブリードタイプ
⑪	・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄 (10~15Mpa) を行う事。
⑫	・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
⑬	・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
⑭	・塗装面削孔時は十分に湿潤すること。



南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

目視クラック部 (0.2mm以上~1.0mm未満) ※○番号については軒天井伏図に記載。

南立面										北立面											
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)		
1	0.20	11	1.00	21	1.00	31	1.05	41	0.70	1	0.90	11	0.60	21	2.30	31	0.50	41	1.40	51	0.60
2	1.60	12	0.80	22	0.70	32	1.40	42	3.30	2	0.60	12	0.90	22	0.90	32	1.20	42	2.10	52	0.20
3	0.40	13	0.35	23	0.55	33	1.25	43	2.40	3	6.00	13	1.70	23	2.00	33	0.70	43	0.70	53	1.20
4	0.60	14	1.50	24	0.70	34	0.70	4	1.20	14	2.60	24	1.20	34	2.20	44	2.80	54	0.30		
5	0.80	15	0.30	25	2.00	(35)	1.00	5	1.20	15	1.00	25	1.30	35	3.85	45	0.20	55	0.40		
6	1.20	16	1.70	26	0.40	36	0.70	6	0.80	16	3.00	26	2.40	36	0.50	46	1.20	56	4.50		
7	0.40	17	0.70	27	0.30	37	0.80	7	4.00	17	0.45	27	1.00	37	1.20	47	0.90	57	0.45		
8	0.70	18	0.90	28	0.80	38	1.80	8	1.20	18	0.50	28	0.60	38	0.35	48	2.40				
9	1.30	19	1.45	29	0.40	39	0.90	9	0.90	19	1.30	29	0.70	39	5.10	49	2.00				
10	0.60	20	1.70	30	1.20	40	0.70	10	4.25	20	2.40	30	0.70	40	1.70	50	2.40				
小計										42.95											89.65

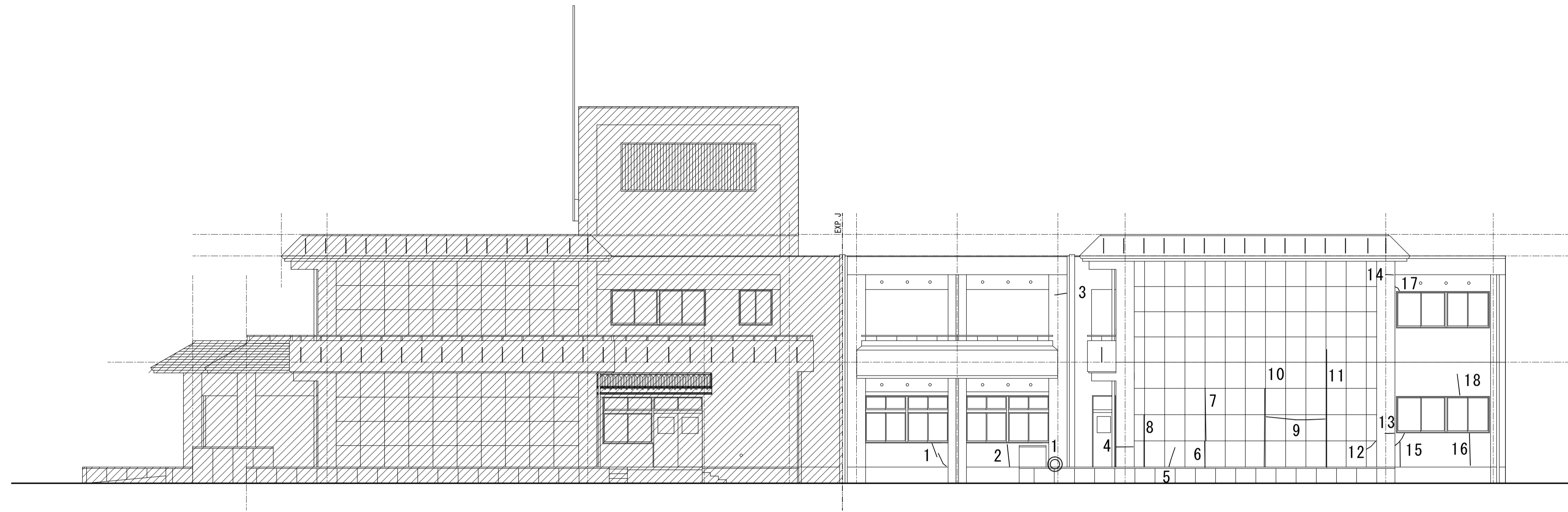
欠損・爆裂・露筋部

南立面			北立面		
種別	番号	箇所数	種別	番号	箇所数
欠損	1	1	欠損	1	1
欠損	2	1	欠損	2	1
欠損	3	1			
欠損	4	1			
欠損	5	1			
小計		5	小計		2

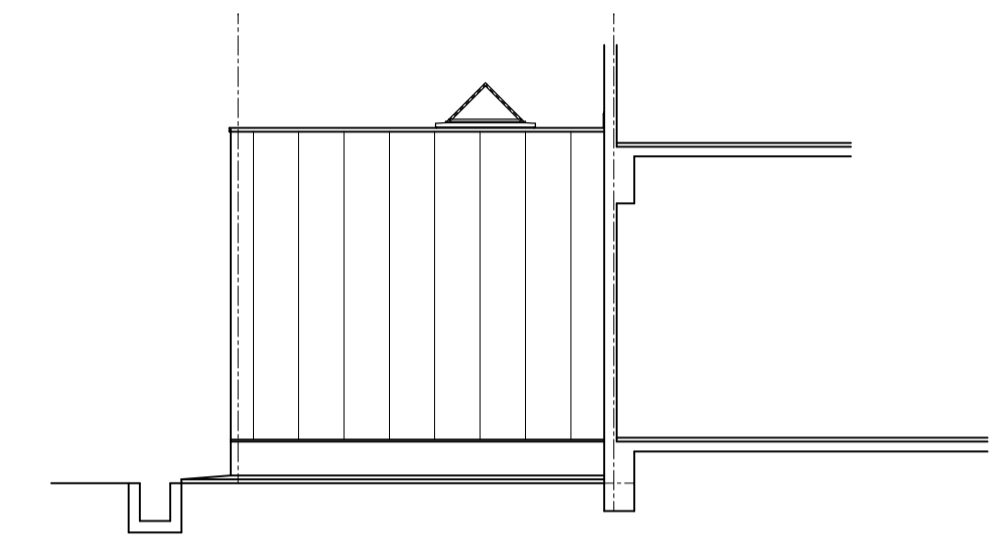
【凡例】

	本工程対象範囲を示す
	本工程対象外範囲を示す
	1 浮きが認められる箇所
	※1 ひび割れ(0.2mm以上~1.0mm以下) ※A' #12-内部
	1 ひび割れ(0.2mm以上~1.0mm以下)
	1 欠損
	1 露筋・爆裂

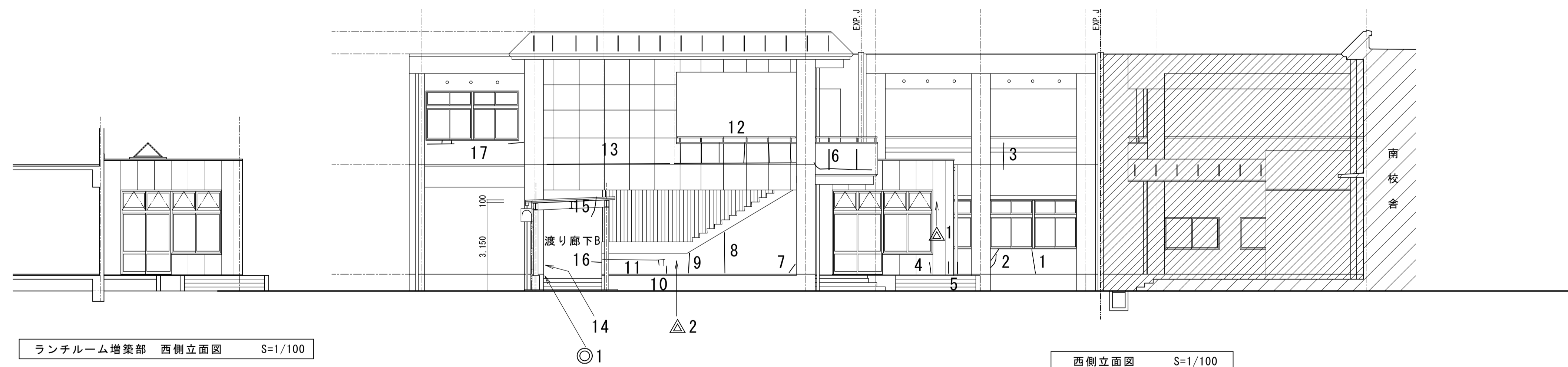
※数字は損傷番号を示す



東側立面図 S=1/100



ランテールーム増築部 東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

ランテールーム増築部 西側立面図 S=1/100

目視クラック部 (0.2mm以上~1.0mm未満)											
東立面				西立面				南立面		北立面	
番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	番号	長さ(m)	長さ(m)	長さ(m)		
1	0.75	11	4.50	1	0.80	11	3.40				
2	0.80	12	0.40	2	0.60	12	9.60				
3	0.40	13	0.35	3	1.40	13	5.20				
4	0.90	14	0.40	4	0.50	14	1.40				
5	0.60	15	1.60	5	1.00	15	0.70				
6	0.90	16	1.20	6	2.20	16	0.20				
7	2.40	17	0.35	7	0.15	17	1.60				
8	1.80	18	0.80	8	2.00						
9	2.30			9	1.30						
10	2.70			10	0.80						
小計	23.15			小計	32.85			小計	89.65	小計	42.95

0.2mm以上~1.0mm未満クラック部 【自動低圧エポキシ樹脂注入工法】			
目視クラック長さ合計(m)	掛付け率	設計数量(m)	
188.60	1.1	207.5	

1mm以上~2mm未満クラック部 【Uカットシール材充填工法】			
目視クラック長さ合計(m)	掛付け率	設計数量(m)	
188.60	0.3	56.58	

中木 モルタル 浮き部 【アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法】			
目視浮き面積合計(m ²)	掛付け率	設計数量(m ²)	
0.00	1.1	0.00	

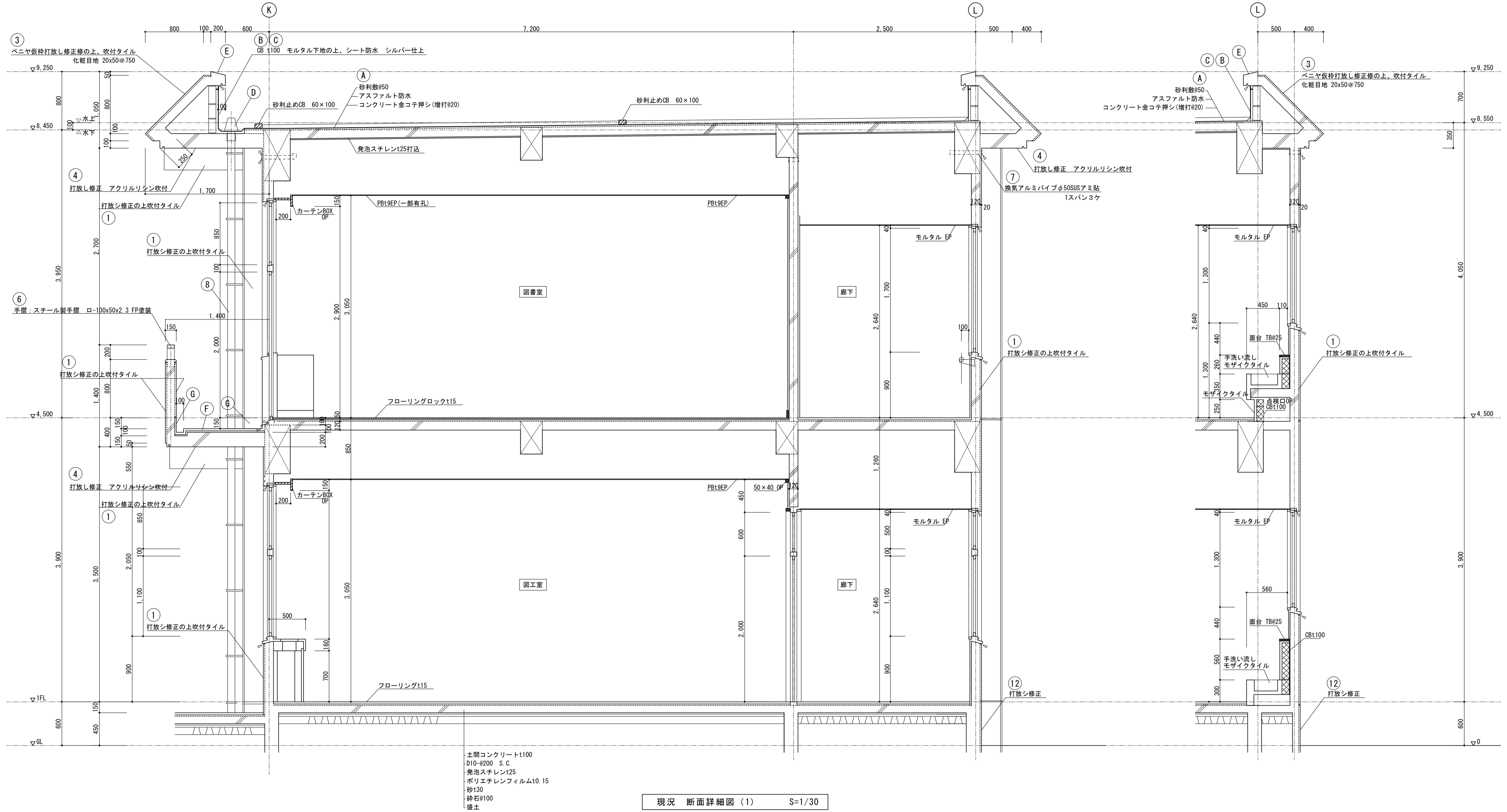
欠損・爆裂・露筋部							
東立面		西立面		南立面		北立面	
種別	番号	箇所数	種別	番号	箇所数	箇所数	箇所数
欠損	1	1	欠損	1	1		
			爆裂	1	1		
				2	3		
小計	1	小計	5	小計	5	小計	2

欠損・爆裂・露筋部 (0.3m x 0.3m/1箇所当たり) 【樹脂モルタル処理】			
目視合計(箇所)	掛付け率	設計数量(箇所)	
13	1.1	15	

【凡例】	
	本工程対象範囲を示す
	本工程対象外範囲を示す
	1 浮きが認められる箇所
	※1 ひび割れ(0.2mm以上~1.0mm以下) ※A' ②C-内部
	1 ひび割れ(0.2mm以上~1.0mm以下)
	1 欠損
	1 露筋・爆裂

※数字は損傷番号を示す

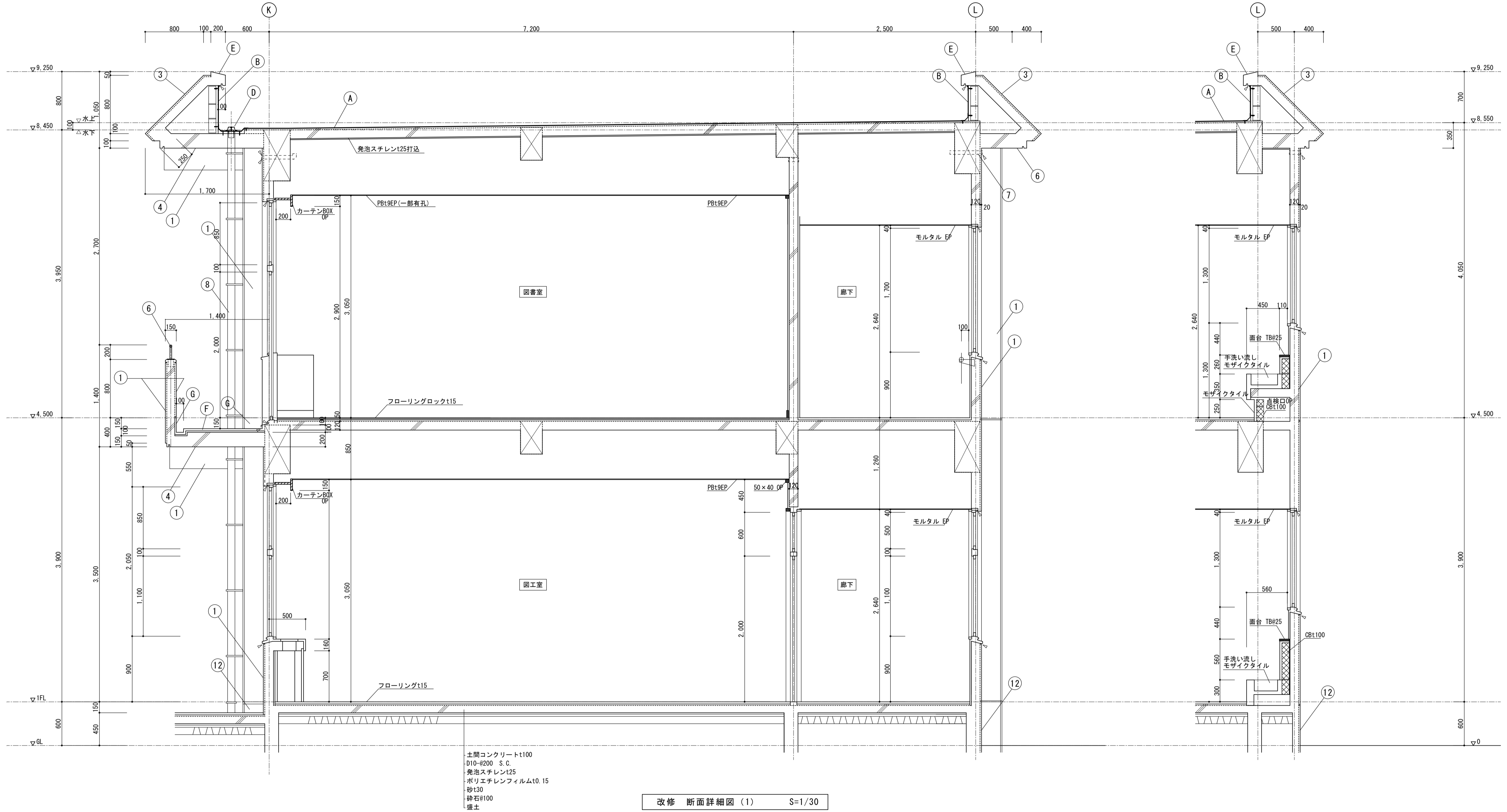
現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	改修 特記事項
① 外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	① 外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色	⑧ 壁種：VPΦ100 VP塗装 摺り金物 FB-319x@900 FP塗装	⑧ 壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	打観目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ
② 外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	② 外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑨ 屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨ 屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
③ 庇先端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③ 庇先端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑩ 渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩ 渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
④ 軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④ 軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑪ 渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪ 渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折板用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 裏面：高圧洗浄のみ	・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。
⑤ 渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤ 渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑫ 巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 橋込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫ 巾木・植込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
⑥ 手摺：スチール製手摺 ロ-100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥ 手摺：モルタル埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】	⑬ 腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
⑦ 換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦ 換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	⑭ スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・塗装面開孔時は十分に湿潤すること。



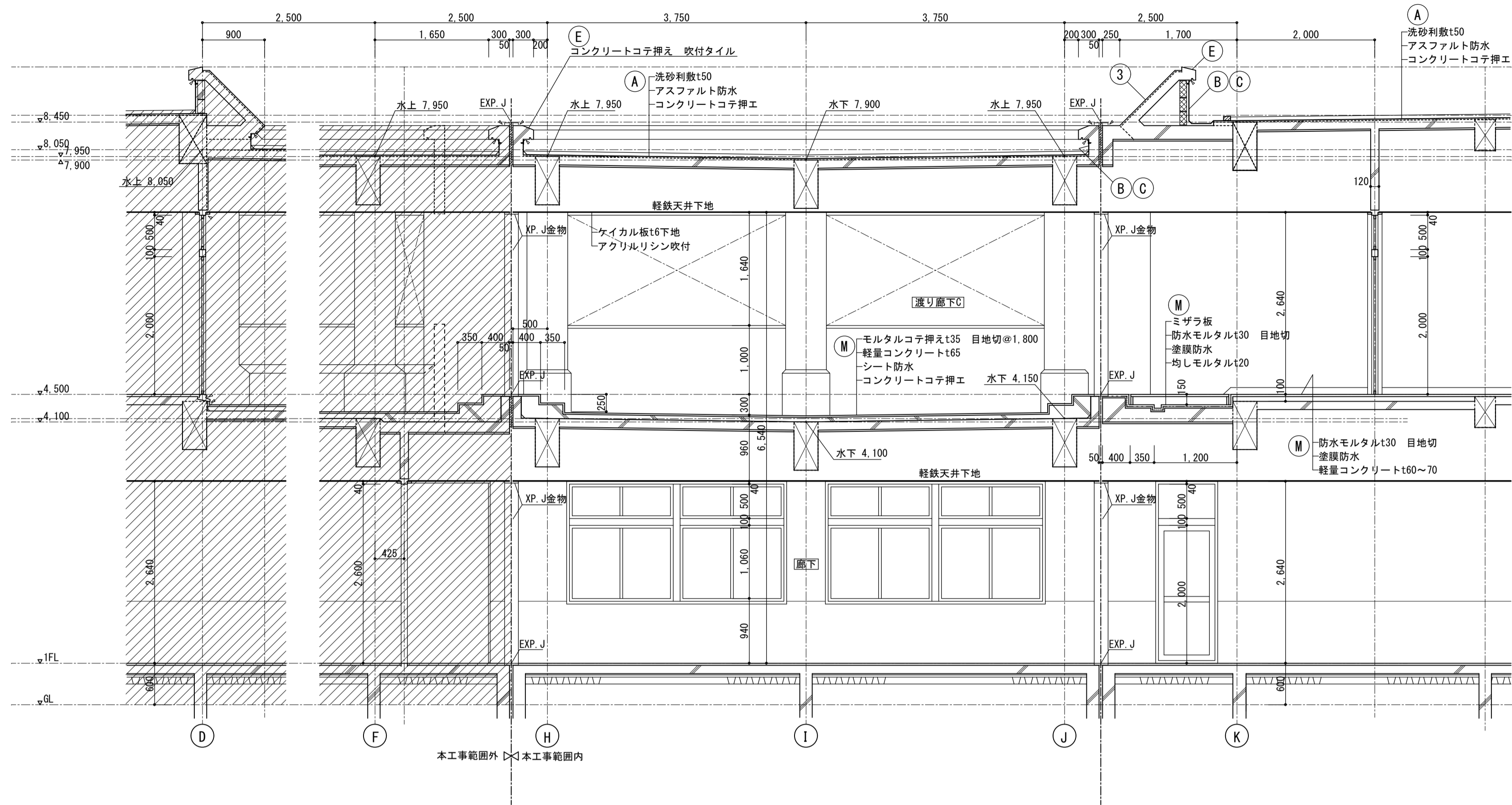
現況 断面詳細図 (1) S=1/30

現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x600【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒（1カ所/70㎡）9カ所【新設】	① 屋上（平場）部：アスファルト防水【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	② 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし	③ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	③ 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9カ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2カ所【新設】	④ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	④ 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑤ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑤ 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑥ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑥ 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	⑦ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑦ 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
		⑧ バルコニーB（平場）部：シート防水【撤去】	⑧ バルコニーB（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
		⑨ バルコニーB（立上）部：シート防水【撤去】	⑨ バルコニーB（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
		⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【撤去】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【新設】
		⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑪ 屋外階段（踏面）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa） 屋外階段（踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）
		⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、ウレタン塗膜防水【新設】
		⑬ 渡り廊下C（平場）部：シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】	⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
		⑭ 渡り廊下C（平場）部：シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】

現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	改修 特記事項
① 外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	① 外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色	⑧ 壁種：VPΦ100 VP塗装 摺り金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧ 壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ
② 外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	② 外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑨ 屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨ 屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
③ 庇先端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③ 庇先端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑩ 渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩ 渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
④ 軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④ 軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑪ 渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪ 渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折板用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 裏面：高圧洗浄のみ	・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。
⑤ 渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤ 渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑫ 巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 掃込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫ 巾木・植込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
⑥ 手摺：スチール製手摺 ロ-100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥ 手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】	⑬ 腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
⑦ 換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦ 換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	⑭ スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・塗装面開孔時は十分に湿潤すること。



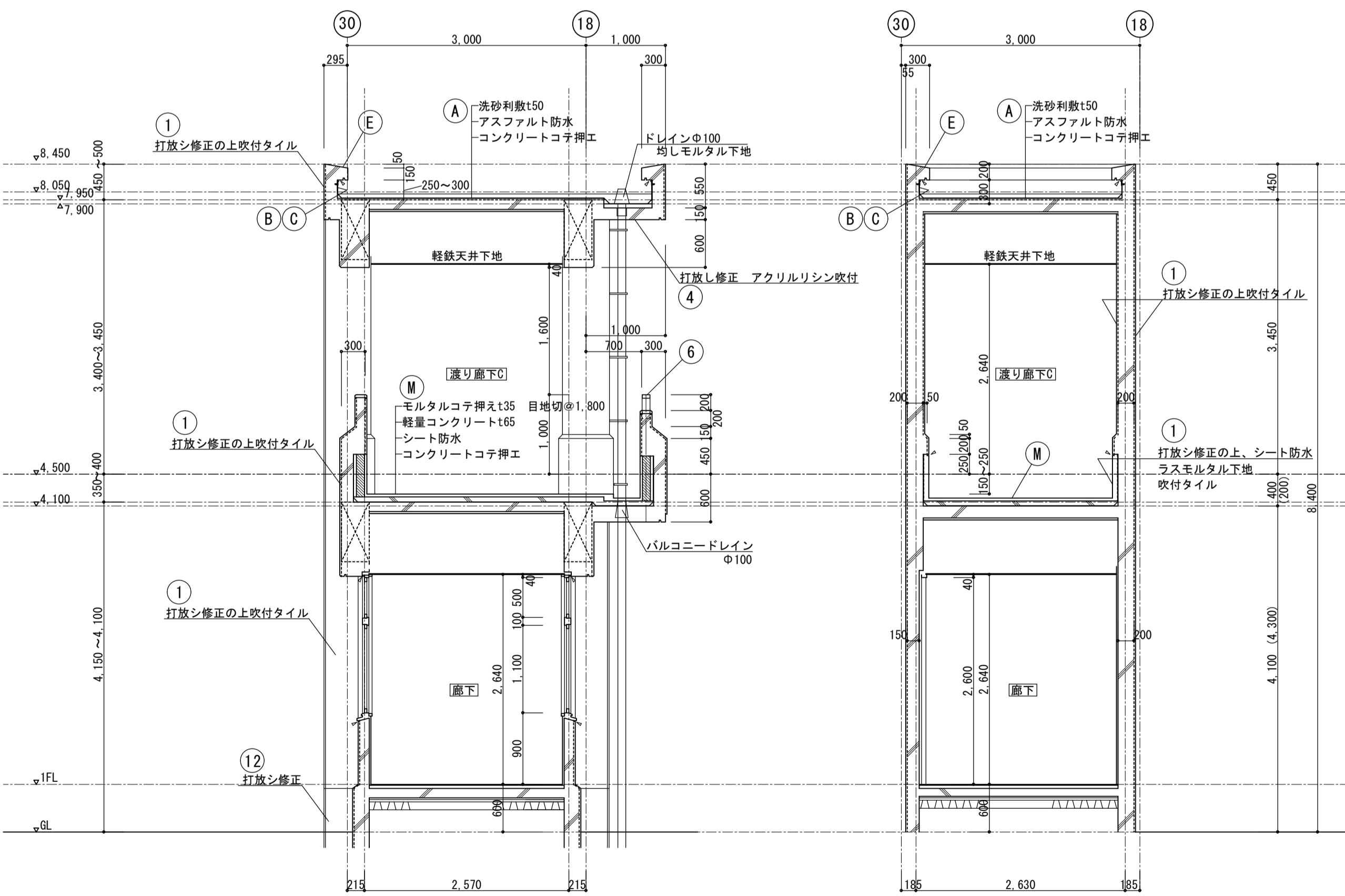
現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x600【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒（1カ所/70㎡）9カ所【新設】	① 屋上（平場）部：アスファルト防水【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	② 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし	③ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	③ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9カ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2カ所【新設】	④ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	④ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑤ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑤ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑥ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑥ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	⑦ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑦ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑧ バルコニーB（平場）部：シート防水【撤去】	⑧ バルコニーB（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】	⑧ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑧ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑨ バルコニーB（立上）部：シート防水【撤去】	⑨ バルコニーB（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	⑨ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑨ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【撤去】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【新設】	⑩ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑩ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa） 屋外階段（踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）	⑪ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑪ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、ウレタン塗膜防水【新設】	⑫ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑫ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑬ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑬ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】
⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】	⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	⑭ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	⑭ 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】



現況 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 外壁：ベニヤ板打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	① 外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色
② 外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	② 外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
③ 庇天端：ベニヤ板打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③ 庇天端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
④ 軒天：ベニヤ板打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④ 軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑤ 渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤ 渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑥ 手摺：スチール製手摺 口-100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥ 手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】
⑦ 換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦ 換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑧ 堅礎：VPΦ100 VP塗装 掘み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧ 堅礎：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑨ 屋外階段面格子：口-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨ 屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑩ 渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩ 渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑪ 渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪ 渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折板用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 表面：高圧洗浄のみ
⑫ 巾木：ベニヤ板打放し修正 補込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫ 巾木・補込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
⑬ 腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り
⑭ SFR製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り

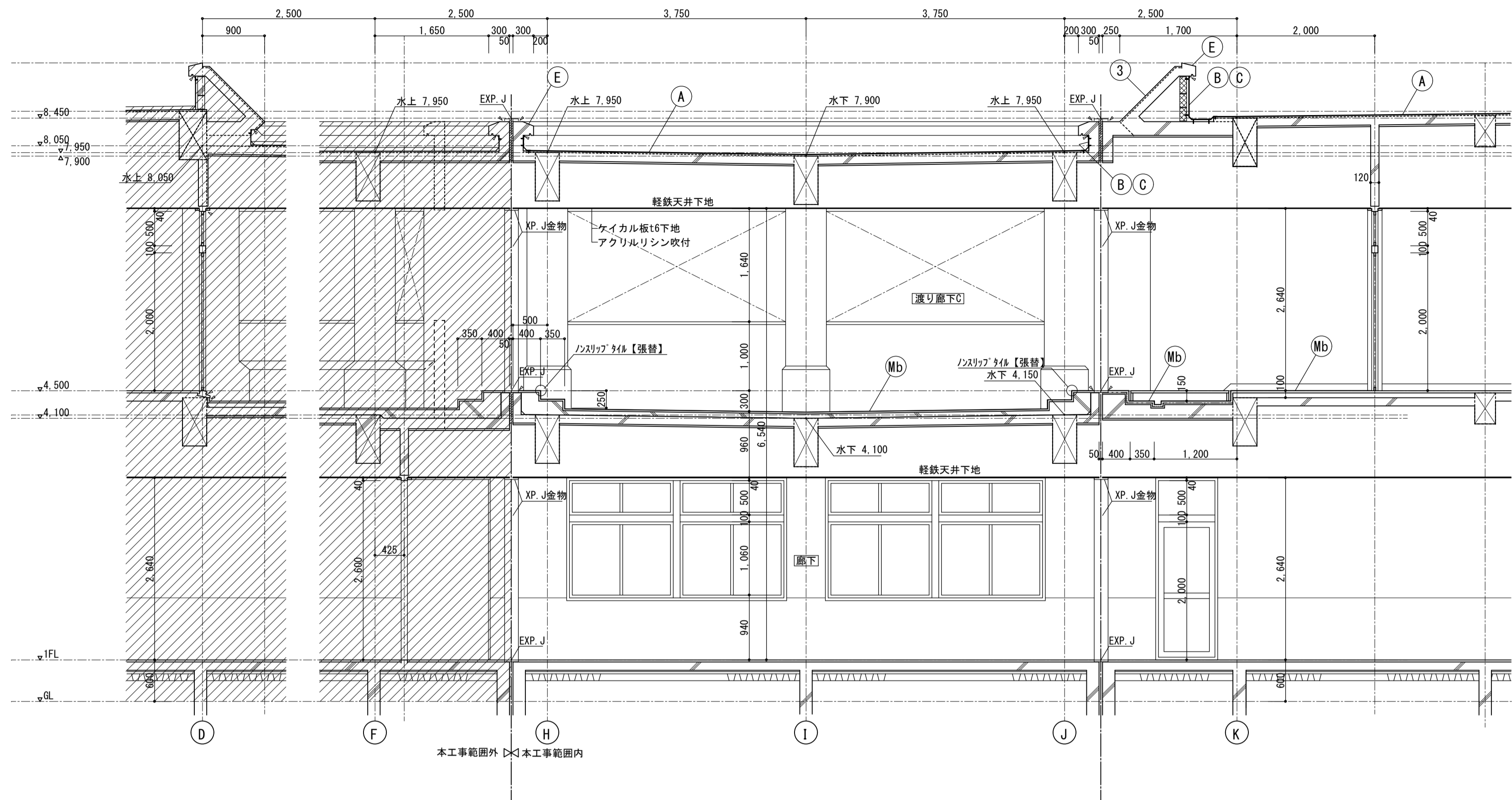
改修 特記事項
打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ
建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
EXP. J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。
・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
・塗装面削孔時は十分に湿潤すること。

【凡例】	
	本工程対象範囲を示す
	本工程対象外範囲を示す



現況 断面詳細図 (2) S=1/50

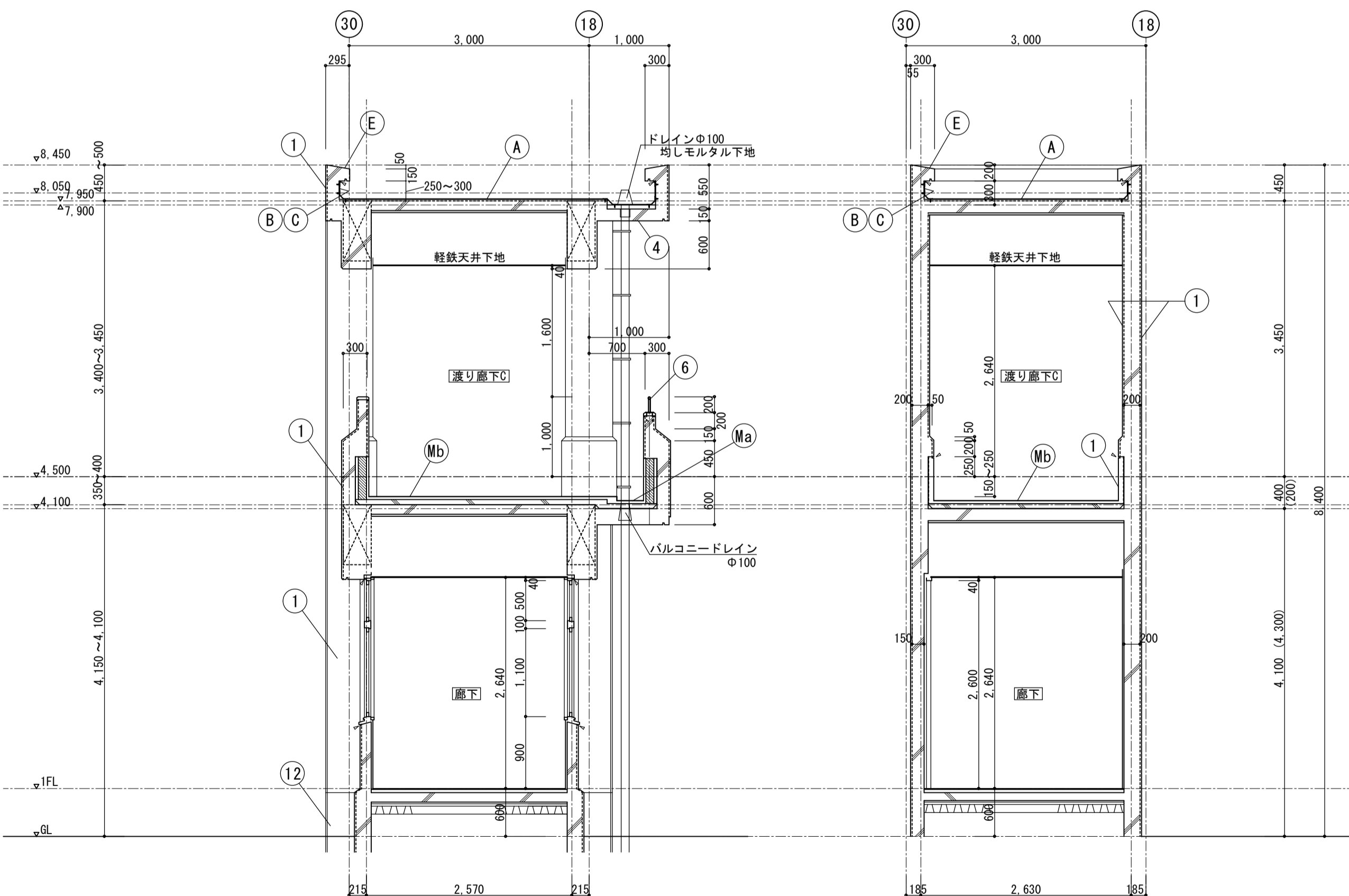
現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x60【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製給気管（1ヶ所/70㎡）9ヶ所【新設】
② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし
④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9ヶ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2ヶ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9ヶ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2ヶ所【新設】
⑤ 屋上（笠木・顎・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・顎・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】
⑧ バルコニーB（平場）部：シート防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%）	⑧ バルコニーB（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
⑨ バルコニーB（立上）部：シート防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	⑨ バルコニーB（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【撤去】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【新設】
⑪ 屋外階段（踏面・頭場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑪ 屋外階段（踏面）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa） 屋外階段（頭場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）
⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、ウレタン塗膜防水【新設】
⑬ 渡り廊下C（平場）部：シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	⑬a 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】 ⑬b 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防汚性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】



現況 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 外壁：ベニヤ板打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	① 外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色
② 外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	② 外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
③ 庇天端：ベニヤ板打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③ 庇天端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
④ 軒天：ベニヤ板打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④ 軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑤ 渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤ 渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑥ 手摺：スチール製手摺 口100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥ 手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】
⑦ 換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦ 換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑧ 壁礎：VPΦ100 VP塗装 掘り金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧ 壁礎：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑨ 屋外階段面格子：口30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨ 屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑩ 渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩ 渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑪ 渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪ 渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折板用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 表面：高圧洗浄のみ
⑫ 巾木：ベニヤ板打放し修正 補込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50@800以内	⑫ 巾木・補込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
⑬ 腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り
⑭ スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り

改修 特記事項
打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ
建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
EXP. J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。
・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
・塗装面孔時は十分に湿潤すること。

【凡例】	
	本工程対象範囲を示す
	本工程対象外範囲を示す

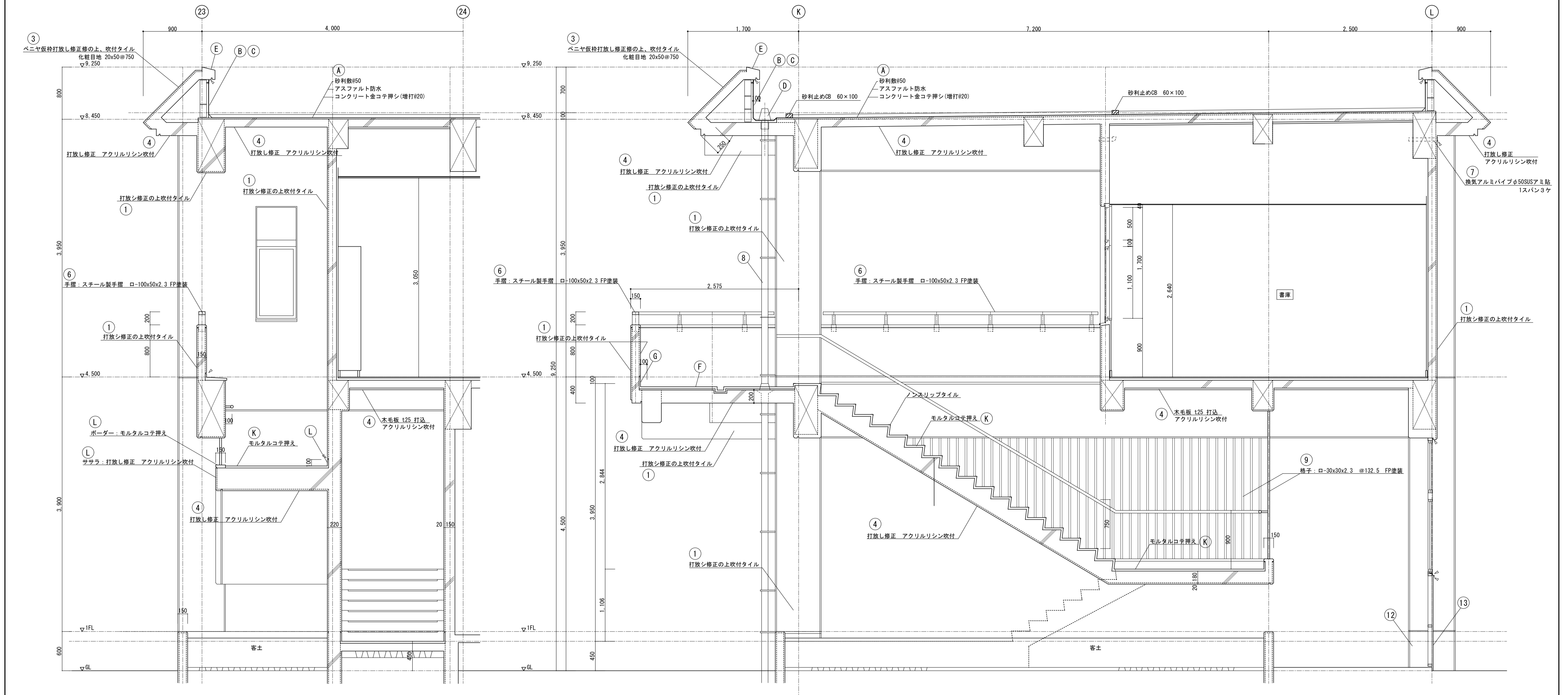


改修 断面詳細図 (2) S=1/50

現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x60【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製給気管（1ヶ所/70㎡）9ヶ所【新設】
② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし
④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9ヶ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2ヶ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9ヶ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2ヶ所【新設】
⑤ 屋上（笠木・顎・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・顎・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】
⑧ バルコニーB（平場）部：シート防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%）	⑧ バルコニーB（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
⑨ バルコニーB（立上）部：シート防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	⑨ バルコニーB（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【撤去】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【新設】
⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑪ 屋外階段（踏面）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa） 屋外階段（踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）
⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、ウレタン塗膜防水【新設】
⑬ 渡り廊下C（平場）部：シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修	⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2の上、防汚性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】

※参考品番 防汚性ビニル床シート サンゲツ（株） NONSKID PX-550

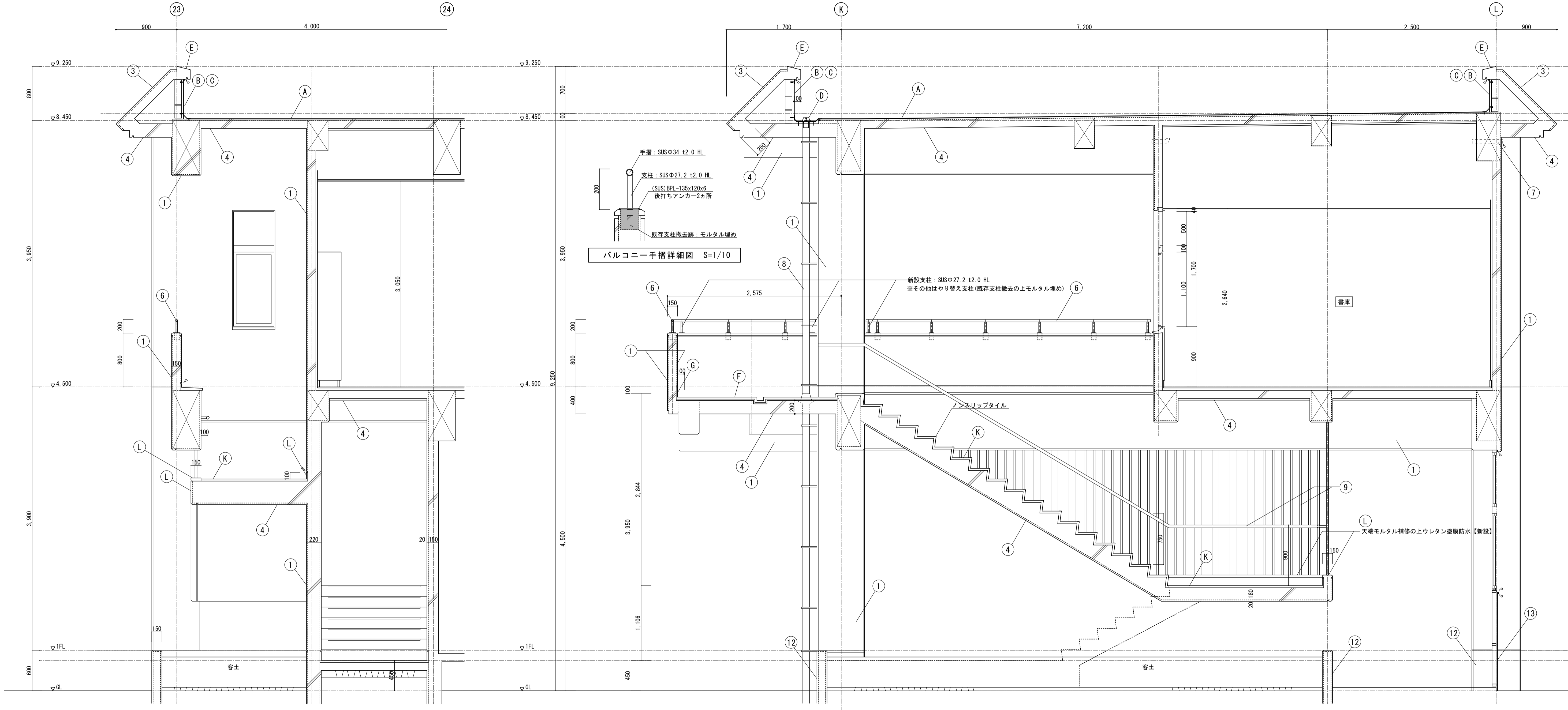
現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	改修 特記事項
① 外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	① 外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色	⑧ 壁柱：VPΦ100 VP塗装 埋み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧ 壁柱：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ
② 外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	② 外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑨ 屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨ 屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
③ 庇天端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③ 庇天端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑩ 渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩ 渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
④ 軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④ 軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑪ 渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪ 渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折板用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 裏面：高圧洗浄のみ	・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。
⑤ 渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤ 渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑫ 巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 橋込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫ 巾木・橋込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
⑥ 手摺：スチール製手摺 ロ-100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥ 手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】	⑬ 腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
⑦ 換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦ 換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	⑭ スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・塗装面剥離時は十分に湿潤すること。



現況 断面詳細図 (3) S=1/30

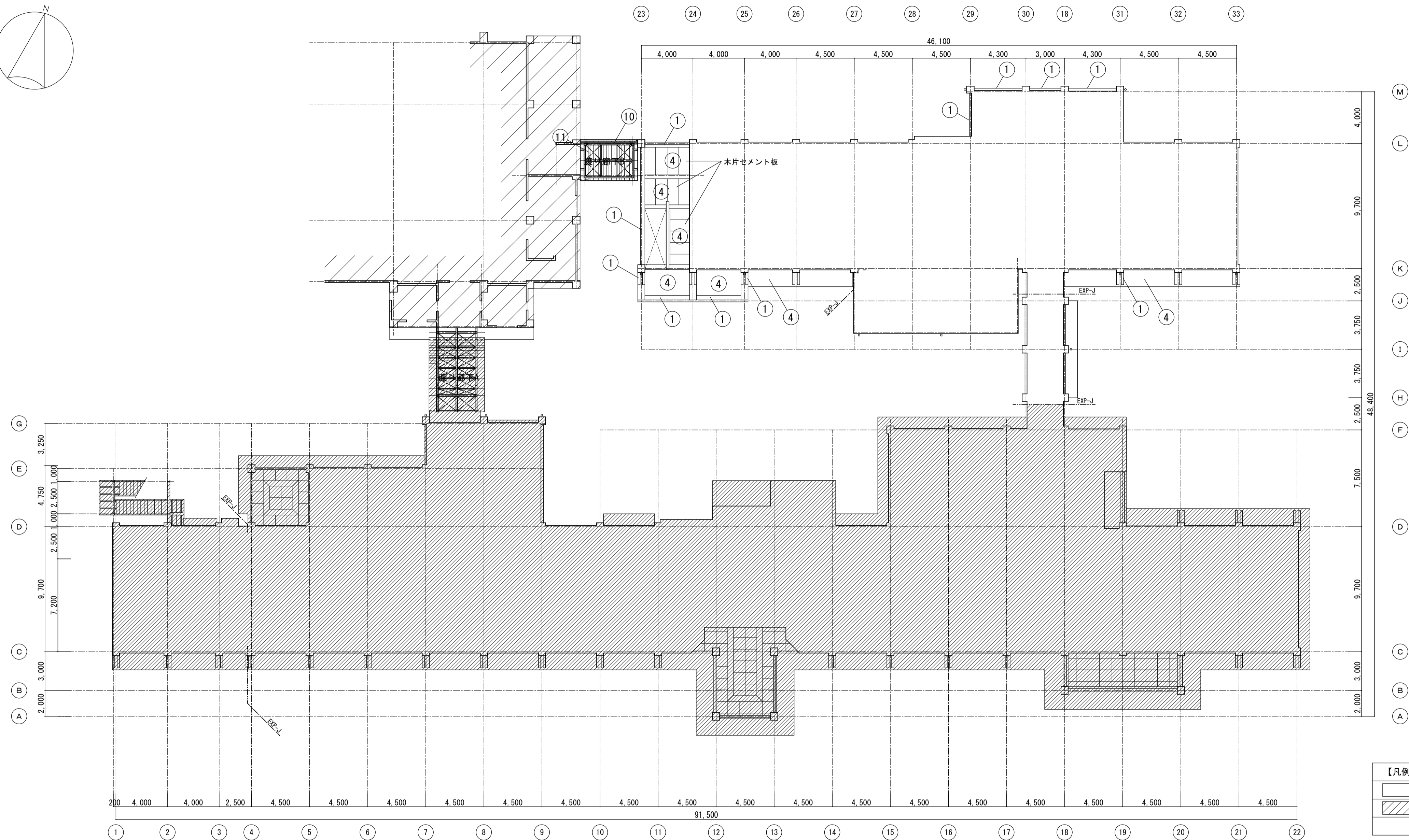
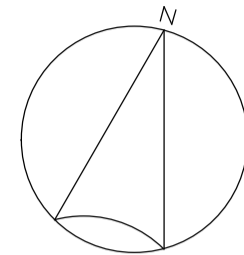
現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x600【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒（1カ所/70㎡）9カ所【新設】	① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x600【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし	③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし
④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9カ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2カ所【新設】	④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9カ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2カ所【新設】
⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】
⑧ バルコニーB（平場）部：シート防水【撤去】	⑧ バルコニーB（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】	⑧ バルコニーB（平場）部：シート防水【撤去】	⑧ バルコニーB（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
⑨ バルコニーB（立上）部：シート防水【撤去】	⑨ バルコニーB（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	⑨ バルコニーB（立上）部：シート防水【撤去】	⑨ バルコニーB（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】
⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【撤去】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【新設】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【撤去】	⑩ バルコニーB（笠木）部：アルミ製笠木 W=180【新設】
⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa） 屋外階段（踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）	⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑪ 屋外階段（踏面・踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa） 屋外階段（踊場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）
⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、ウレタン塗膜防水【新設】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】	⑫ 屋外階段（ササラ・巾木）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、ウレタン塗膜防水【新設】
⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑬ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】	⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑭ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2の上、防滑性ビニル床シートt2.5 耐湿工法【新設】

現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況 外部仕上表	改修 外部仕上表	改修 特記事項
① 外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	① 外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色	⑧ 壁種：VPΦ100 VP塗装 挿み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧ 壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ
② 外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	② 外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑨ 屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨ 屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
③ 庇天端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③ 庇天端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	⑩ 渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩ 渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ
④ 軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④ 軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑪ 渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪ 渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折板用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 裏面：高圧洗浄のみ	・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。
⑤ 渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤ 渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】	⑫ 巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 掃込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫ 巾木・植込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】	・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。
⑥ 手摺：スチール製手摺 ロ-100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥ 手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】	⑬ 腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。
⑦ 換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦ 換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】	⑭ スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭ 腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り	・塗装面開孔時は十分に湿潤すること。



改修 断面詳細図 (3) S=1/30

現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表	現況・撤去 外部仕上表	改修 外部仕上表
① 屋上（平場）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（平場部x10%） 防水押え敷砂利 t50程度【全面撤去】、砂利止コンクリートブロック60x100x600【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行用）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 ステンレス製脱気筒（1カ所/70㎡）9カ所【新設】	① 屋上（平場）部：アスファルト防水【撤去】	① 屋上（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5（非歩行用） 機械固定工法S-M2【新設】
② 屋上（立上）部：アスファルト防水、既存防水層浮き部切開の上、水抜き処理、溶着補修（立上部x30%）	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、塩ビシート防水（非歩行用）t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】	② 屋上（立上）部：アスファルト防水【撤去】	② 屋上（立上）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）の上、塩ビシート防水t1.5 機械固定工法S-M2【新設】 入隅部及び立上端部は塩ビ被覆鋼板【新設】
③ 屋上（立上）部：防水押えアングル（シール共）【撤去】	③ なし	③ 屋上（立上）部：防水押えアングル【撤去】	③ 屋上（立上）部：アルミ製笠木 W=180【新設】
④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	④ 屋上（ドレン）部：ドレン廻りケレン清掃後、タテ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）9カ所【新設】 ヨコ引型Φ100改修用塩ビ成形ドレン（ストレーナ共）2カ所【新設】	④ 屋上（ドレン）部：タテ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 9カ所【撤去】 ヨコ引型ドレン、ストレーナ及び防水押え皿 2カ所【撤去】	④ 屋外階段（踏面・踊場）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】
⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑤ 屋上（笠木・頭・機械基礎）部：コンクリートコテ押え、吹付タイル【既存のまま】	⑤ 屋外階段（ササラ・巾木）部：防水モルタルコテ押え【既存のまま】
⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ バルコニーA（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】	⑥ バルコニーA（平場）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑥ 渡り廊下C（平場）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水X-2【新設】
⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：ケレン清掃、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、ウレタン塗膜防水【新設】	⑦ バルコニーA（巾木・溝）部：防水モルタルt30、目地切@1,800【既存のまま】	⑦ 渡り廊下C（平場）部：シート防水の上、軽量コンクリートt65押え、モルタルコテ押えt35【既存のまま】 伸縮目地@1,800【撤去】モルタル補修



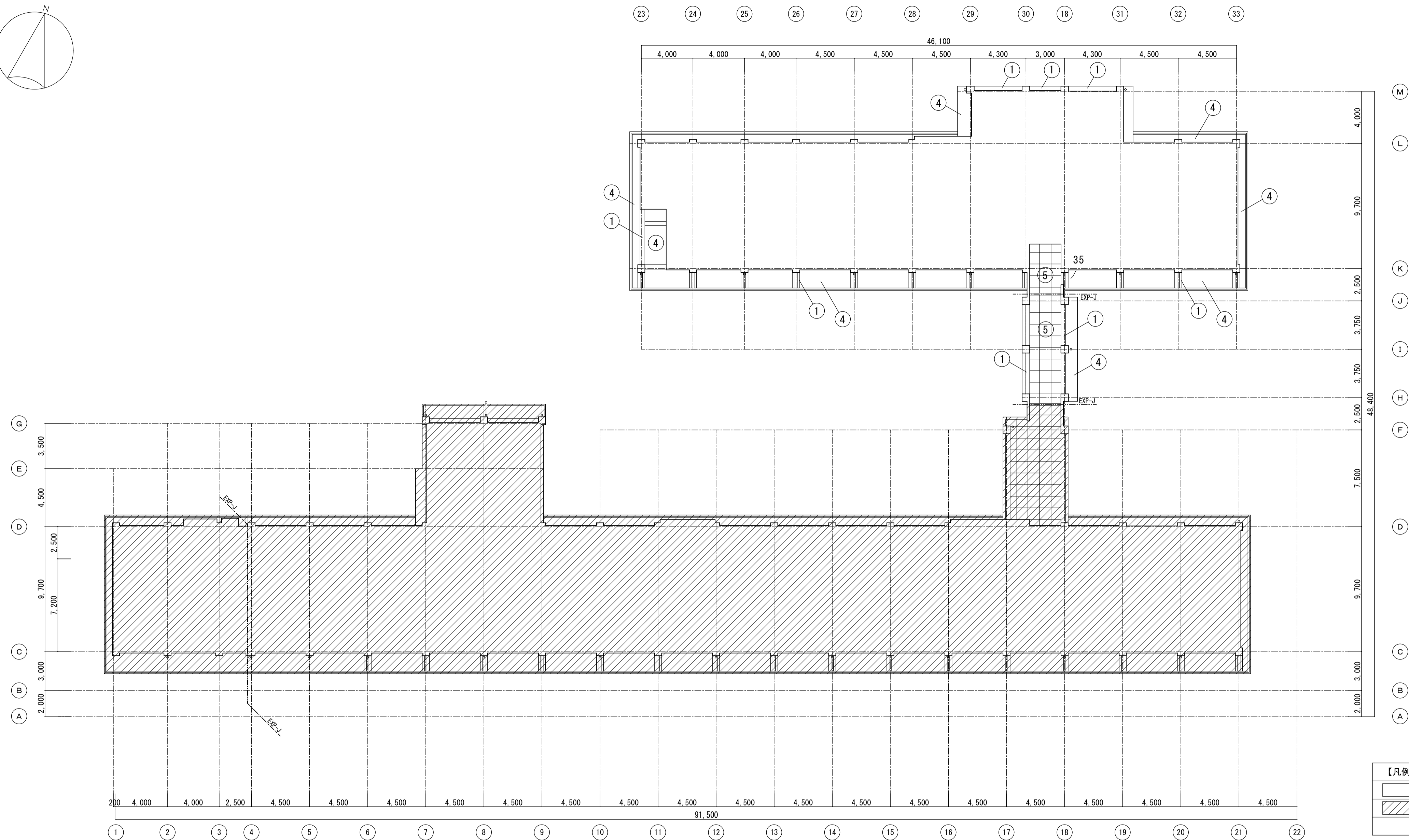
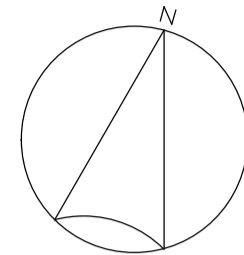
【凡例】	
	本工程対象範囲を示す
	本工程対象外範囲を示す

現況・改修 1階軒天井伏図 S=1/200

現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
①	外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	①	外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色
②	外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	②	外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
③	庇天端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③	庇天端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
④	軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④	軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑤	渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤	渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑥	手摺：スチール製手摺 100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥	手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】
⑦	換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦	換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】

現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
⑧	壁種：VPΦ100 VP塗装 掘み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧	壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑨	屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨	屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑩	渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩	渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑪	渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪	渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折版用塗料（シリコン系調剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 表面：高圧洗浄のみ
⑫	巾木：ベニヤ仮枠打放し修正	⑫	巾木：高圧洗浄（10～15Mpa）の上、浸透性吸水防止材塗

改修	特記事項
打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ	
建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ	
EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ	
・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。	
・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。	
・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。	
・塗装面削孔時は十分に湿潤すること。	



現況・改修 2階軒天井伏図 S=1/200

現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
①	外壁：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 一部化粧目地 20x50@900クロス	①	外壁：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】※2色
②	外壁：ALC板 t100の上、吹付タイル	②	外壁：ALC板 t100下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
③	庇天端：ベニヤ仮枠打放し修正の上、吹付タイル 化粧目地 20x50@750	③	庇天端：RC下地、高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
④	軒天：ベニヤ仮枠打放し修正の上、アクリルリシン吹付 一部（屋外階段）木毛板 t25打込の上、アクリルリシン吹付	④	軒天：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、外装薄塗材E【新設】 一部（屋外階段）ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑤	渡り廊下C軒天：ケイカル板 t6下地 アクリルリシン吹付	⑤	渡り廊下C軒天：ケレン清掃の上、外装薄塗材E【新設】
⑥	手摺：スチール製手摺 ロ-100x50x2.3 FP塗装【撤去】	⑥	手摺：モルタル穴埋めの上、ステンレス製手摺 Φ34 t2.0 HL【新設】
⑦	換気口パイプ：Φ50、Φ75	⑦	換気口パイプ：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】

現況	外部仕上表	改修	外部仕上表
⑧	壁種：VPΦ100 VP塗装 掘み金物 FB-3x19x@900 FP塗装	⑧	壁種：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑨	屋外階段面格子：ロ-30x30x2.3 @132.5 FP塗装	⑨	屋外階段面格子：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑩	渡り廊下B：鉄骨造 FP塗装	⑩	渡り廊下B：下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り【新設】
⑪	渡り廊下B 屋根：塩ビ鋼板 ルーフデッキ t0.8	⑪	渡り廊下B 屋根：高圧洗浄、下地調整の上、折版用塗料（シリコン系弱溶剤）【新設】 樹脂ボルトキャップ取付【新設】 表面：高圧洗浄のみ
⑫	巾木：ベニヤ仮枠打放し修正 植込部：コンクリート打放し修正 化粧目地25x50 @800以内	⑫	巾木・植込部：高圧洗浄（10～15Mpa）、下地調整C-2の上、複層塗材E【新設】
⑬	腰壁・水切・袖壁：(GL)カラー鋼板 t0.35・鋼板 t2.3 OP塗装	⑬	腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り
⑭	スチール製シャッター・シャッターBOX：スラット t0.6・鋼板 t1.0 OP塗装	⑭	腰壁・袖壁：高圧洗浄、下地調整の上、錆止め塗料+DP塗り

改修	特記事項
打継目地：撤去打替え（PU-2） ノンブリードタイプ	
建具廻り・建具水切り下：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ	
EXP.J部・換気扇・フード周囲：撤去打替え（MS-2） ノンブリードタイプ	
・特記なき既存仕上部分は高圧洗浄（10～15Mpa）を行う事。	
・アルミ建具外部はガラスクリーニングを行うこと。	
・設備：脱着しない機器・配管類については、養生を行うこと。	
・塗装面削孔時は十分に湿潤すること。	

工 事 名 称	びわ北小学校北校舎外壁等改修工事		
図 面 名 称	現況・改修 2階軒天井伏図		
DRAWN	SCALE	SEAL	DRAWING NO.
	A1: 1/200	A	21
滋賀県長浜市内保町2454 TEL:0749-74-2821 FAX:0749-74-2811 E-mail:info@w-woods.co.jp 一級建築士登録 第207539号 伏木直之			